

官報 號外 昭和六年三月六日

昭和六年三月六日

○第五十九回 帝國議會 貴族院議事速記錄第二十六號

昭和六年三月五日(木曜日)午前十時三十二分開議

議事日程 第二十六號
昭和六年三月五日

第一　國務大臣ノ演說ニ關スル件（第

第二 地租法案（政府提出、衆議院送
付）

第三 營業收益稅法中改正法律案（政
府提出、衆議院送付） 第一讀會

第四 破壞消費稅法中改正法律案（政府提出、衆議院送付） 第一讀會

第五編 特別會議和決議案（三）

改正法律案（政府提出、衆議院送付）

第七 大正十五年法律第二十四號中改
正法律案(政府提出、衆議院送付)

第八 都市計畫法中改正法律案（政府 第一讀會

議長（公爵徳川家達君）　是ヨリ書記官ヲ

〔瀬古書記官朗讀〕

四日政府ヨリ左ノ通政府委員仰付ケテ、
ル旨ノ通牒ヲ受領セリ
第五十九回 帝國議會内務省所管事務政府
委員

社會局部長 同
大野綠一郎君
石原雅二郎君

官報號外
昭和六年三月六日、貴族院議事速記錄第二十六號
議長ノ報告 會議

議日程變更ノ協議 地租法案外六件 第一讀會

外 昭和六年三月六日 速記録第一十六號

前ニ於キマシテ、海軍大臣自ラ言ハレタヤ
ウニ、豫算ノ提出ヲ希望モシ又必要ヲ感ゼ
ラレテ居ルノデアリマス、少クトモ是等ニ
對シマシテハ、國防實施計畫ガ未決定ノモ
ノデアルノデアリマス、マダ確定イタシテ
居ラヌノデアリマス、言葉ヲ換ヘテ申シマ
スナラバ、マダ必要ガナイト斷定ハ出來ナ
イノデアリマス、必要デアルカモ知ラヌ、
必要デアルカモ知ラヌト云フ可能性ガ多イ
ノデアフテ、不必要ナリト斷定スルコトハ出
來ヌノデアリマス、此未確定ノ國防計畫ニ
於テ、未確定ナ此際ニ於テ此保財源ヲ放
棄サレルト云フコトノ意味ガ分ラヌ、御精
神ガ分ラヌノデアル、愈々是ガ必要ガ無ク
オフタ、即チ是ダケノモノハ金額ガ必要ハ
ナクナラタト云フ時ニ於テ、初メテ減税ノ案
ヲ御立テニナルコトガ當然デアル、是ガ健
全デアル、國防ノ上ニ於テモ健全デアルノ
ミナラズ、財政計畫ヲ立テル上ニ於テモ健
全デアルノデアリマス、然ルニマダ是ガ確
定セヌ、未確定ノ間ニ於テ減税、即チ減税
ヲ一度イタシマスルナラバ、恒久的ニ一般
歳入ニソレダケノモノハ入ッテ參ラヌノデ
アリマス、言葉ヲ言ヒ換ヘルナラバ、減税ノ
財源ハ永久ニナルノデアリマス、此點ニ付キ
マシテ私ハ海軍當局ガ保財源ヲ放棄サレル
所ノ御精神ガ分ラヌノデアル、愈々之ガ必要ガ
ナクナラタト云フ場合ニ於テ、減税サレルト
云フコトヲ承認セラレテモ宜イカモ知レ
ヌ、爲ルニ未ダ要ルカモ要ラヌカモ分ラヌ
保留財源ガ海軍ノ爲ニ存シテ居ルノデアル、
マダ未確定ノ間ニ之ヲ放棄サレルト云フコ
ト云フ觀念ヲ持テハ相成リマセヌ、ソレナ
ルモノハ、アレハ預金部ニ、此處ニ現金ト
ヲ以テ何カノ國民ノ負擔輕減ヲ圖ル途ニ之
ヲ充當スル、金ヲ遊バスト云フコトナシニ

之ヲ勤カスト云フコトモ考ヘラレマセウ、併ナガラ此保留財源ナルモノハ御承知ノ通リニ年々國庫ノ歳入カラ是ダケノモノヲ別除シテ置クト云フ財政上ノ立前ニ過ギナインデアリマシテ、今日茲ニ五億八百万圓ガ存在シテ居ルノデハナイノデアリマス、故ニ尙更ニ此問題ヲ未確定ノ間ニ於テ處分ノ案ヲ議スルト云フコトハ私ニハ分ラヌノデアリマス、又假リニ茲ニ昭和九年度迄位ニ於キマシテ此國防計畫補充ノ必要ハナイト致シマスナラバ、今日ノ財政、財界ノ様子ニ依リマシテ、國民負擔ノ輕減ヲ圖ルガ爲ニ、之ヲ或ハ臨時緊急ノ費途ニ、或ハ救濟ノ事業ニ之ヲ投ズル、充當スルト云フガ如キデアリマスルナラバ、臨時、一時のモノノデアリマスルナラバ、マダ國防計畫ノ將來要ルカ要ラヌカノ確定スル迄、其金額ヲ以テ國民負擔ノ輕減ヲ圖ルト云フコトニアルナラバ、意味ハ通ルノデアリマス、併ナガラ之ヲ減税ノ如キ恒久的ノ財源ヲ要スベキ所ノモノニ充當セラレルト云フ事柄ハ、度々繰返シマスケレドモ、本員ハ意味ガ分ラヌノデアリマス、併ナガラ若シ之ニ代ルベキ財源ガ外ニ目安ガ付イテ居ルト云フコトデアリマスルナラバ是ハ別論デアリマス、ソコデ本員ハ御尋不致シタインデアル、一般行政整理ヲサレマシテ、必要ヲ生ジタル場合ニ於テ補充計畫ニ對スル所ノ財源ヲ御求メニナルノデアリマスルカ、又公債ヲ募集シテ之ニ充當サレルノデアリマスルカ、又必要デアル……此國防上必要ト相成タ場合ニ於キマシテハ、國防關係デアリマスルカラ絶對ニ必要ナモノト相成ルノデアリマス、故ニ増税ヲセラル御考デアリマスルカ、又經濟界ノ復活ヲ俟テ自然增收ノ來タルコトヲ日安ト致サレテ居ラレルノデベキ財源ノ目安ヲ御持チニテ居ルノデアリマスルカドウカ、マダ此補充計畫ノ實

施モ確定ハ致シテ居リマセヌ、ケレドモ既ニ海軍大臣ハ其希望ト其必要ヲ認メラレ居ルノデアリマス、唯實施ノ計畫ヲ今日立テ居ラヌト云フダケデアル、必要ノ金デハ十分デアルノデアリマスルカラ、茲ニ海軍ノ爲ニ保留財源ノアルモノヲ放棄スル場合ニ於テハ、ソレダケノ財政上茲ニ目安ガナケレバナラヌ、自然增收デアリマシテモ……此財政上ノ状況ニ於キマシテハ、年々國庫ノ歳入ガ減ルト云フヤウナ状況デアリマス、此數年ノ間、自然增收ヲ必シモ期待シテ計畫ヲ立テルト云フコトハ危險デアリマス、又繰越ノ事業ガ澤山残シテ居リマス、是等モ又シナケレバナラヌ情勢ニアルノデアリマス、故ニ自然增收ト云フモノニ期待スルコトハ多クハ出來ヌノデアリマス、又行政整理、之ニ依シテ費額ヲ産ミ出スト云フコトモ必要デアリマセウケレドモ、此社會上ノ進歩ノ状況ニ適應スル爲ニ、社會的施設ノ必要ガアルノデアリマスルカラ、是モ亦期待ハ出來ヌノデアリマス、又公債募集、此現内閣ノ方針トセラレマシテモ可能デアラウカ、此處デ御述ベニナッテ居ル通り、非募債主義デ原則ハ立ツテ居ラレル、殊ニ不生産的ナル國防計畫ノ爲ニ公債ヲ募集セラルルト云フコトハ我ミハ期待出来ヌノデアリマス、然ラバ已ムヲ得ヌ、國防上已ムヲ得ヌカラシテ、更ニ増税ニ依ル外ハナイト云フ結論ニナル、將來若シ必要ガアッタ場合ニハ増税ヲスルト云フコトニ、事柄ガ歸結シテ相成ルト云フコトガ想像サレル、然ラバ今日減税ヲスルト云フコトト、相矛盾スルコトガ此數年ノ後ニ於テ生ズルコトハナカ、サウシテ其實質ハ誠ニ貧弱ナル、サウシテ言葉ヲ荒立テ申シマスルナラバ、羊頭ヲ懸ケテ狗肉ヲ賣ルト云フ批判ヲ下シテモ差支ナシ、世間ヲシテ減税ト云フ美名ノ

下ニ、唯國防計畫ノ將來ニ對スル對策ニ付テノ用意周到ヲ缺キ、又財政計畫ニ對スル所ノ用意周到ヲ缺イデ、唯此減稅ナル美名ヲ以テ國民ニ接セムトセラルノデハナカ、斯様ナコトガアッテハ私ハ國家ヲ贋シウスル所ノ結果ニナリハシナイカト云フコトヲ痛感スルモノデアルノデアリマス、依テ私ハ先づ海軍大臣ニ御尋シヤウト思フノデアリマス、即チ海軍大臣ガ向セニナ、テ居ラル將來、昭和十一年度以前ニ於キマシテノ國防上、ソレガ第二次計畫ト云ハウトモ、一補充計畫ト言ハウトモ、何ト云フトモ、名稱ハ鬼ニ角、茲ニ必要ナルモノアリト云フコトヲ言ハレテ居ルノデアリマスルガ、殊ニ條約ノ結果、列國ガ其條約ヲ皆滿タスト云フ權利ヲ實行スルト云フコトニ相成リマスル場合ニ於テハ、明カニ我國ニ於テモ此權利ヲ實行センケレバナラヌノハ明カデアルノデアリマス、其時ニ此補充計畫ヲ立てペキ所ノ財源ニ對シテ、如何ナル所ニ目安ヲ持テ居ラルカト云フコトヲ、先づ以テ海軍大臣ニ伺ハヌケレバナラヌノデアリマス、其點ヲ私ハ海軍大臣ニ御尋ネ致シマス。

5

「國務大臣男爵安東尼奧・皮涅拉ニ登ル」

居ルト考ヘテ居リマスカラ、念ノ爲メソレ
ダケハ中上ゲテ置キマス、次ニ此度ノ海軍
ノ兵力整備計畫ニ付テ、保留財源ナルモノノ
中カラ三億七千四百万圓ヲ海軍ノ整備計
畫ニ兵効整備計畫ニ取テ、後ノ餘リノ一
億三千四百万圓ヲ減税ニ致シタノデアル
ガ、此度ノデハ尙ホ國防上必シモ十分デナ
イト云フ意味デ、次ノ計畫ガアルヤウニ思
フ、此事ニ付テノ御尋ニアリマシタガ、念
ノ爲メ能ク申上ゲマスルガ、此度提出イタ
シテ御協賛ヲ願テ居リマスル三億七千四
百万圓ノ此案ガ幸ニ御協賛ヲ得マスレバ、
之ニ付テ國防上ノ必要トル兵力ノ骨幹ハ
備ハリマシテ、當面ノ情勢ニ於テ國防上不
安ナイト云フコトモ幾度モ申上ゲテ居リマ
スル、即チ其通りアリマス、之ニ若干ノ
兵力ヲ尙ホ附加ヘルト云フコトハ必要ト認
メテ居リマス、昭和十一年度以前ニ於テ附
加ヘル必要ヲ認メテ居リマスルガ、其必要
ト云ブモノハ豫テカラ申シマスル通り、外
國ノ海軍ノ情勢、即チ此倫敦條約ノ權利ヲ
ドウ云フ程度ニ行使スルカ、而シテ其行使ス
ルニ於テドウ云フ兵種ニ重キヲ置イテヤラム
トスルカト云フヤウナコトヲ見極メ、又技術
ノ進歩變遷等ニ鑑ミ、又内ニハ財政ノ狀況
等ヲ考慮シテカラ之ヲ決定スペキテ、今日
ソレヲ具體的ノ計畫トシテ持テ居ル次第
デハナイト云フコトヲ幾度カ申上ゲテ居リ
マスル次第アリマス、即チサウ云フ意味
ニ於キマシテ、マダ幾年カノ後ニ於テ立テ
ベキ計畫アリマスルカラ、ソレニ對シテ
特ニ財源ヲ用意イタサヌモ宜カラウト云
フ意味ニ於キマシテ、今日ノ情勢ニ於テ是
非共必要トルモノノ計畫ヲ立テマシテ、
ソレヲ實行スル上ニ於テ國防上不安ナイト
見極メマシタ、其餘剩ノ財源ト云フモノガ
是ハ矢張リ倫敦軍縮會議ノ目的ノ、主要ナ
ル目的ノ一ツアリマスル國民負擔ノ輕減
ト云フ意味ニ當リマスル其減税ト云フコト
ニ向ケラレルコトハ、是ハ當然ノコトト考

ヘタ次第デアリマス、而シテ只今マデ述べ
マシタ其外國ノ狀況ニ依ルト云フヤウナ事
件ニ付テ保留ガシテアル次第デアリマスル
柄デハ、少シモ其財源ヲ減税ノ方ニ割イタ
カラ段々御指摘ニナリマシタガ、海軍當局
ノ見マスル所ニ於キマシテハ、今日ニ於テ
是非共必要トルモノハ別問題デアリマス
ルケレドモ、更ニ若干年延バシテ宜イモノ
ニ付キマシテハ、是ハ外國ノ狀況等ニ依ラテ
極メルト云フコトガ、當然ノ次第デアリマ
シテ、餘リ早ク極メテシマウト云フコト
ハ、却テ折角ノ兵力ニ、或場合ニハ不都合
ヲ來スト云フヤウナ場合モ生ズルノデアリ
マス、ソレデ極メテ最小ノ經費ヲ以テ、最
大ノ兵力ヲ遣テ、サウンテ國防ノ責ニ當ラ
ナケレバナラヌト云フ立前デ進ムノデアリ
マスルカラシテ、毎度申シマスルヤウデア
リマスルケレドモ、攻勢ノ作戦ヲ採ルト云
フコトヲ立前トル國ハ、自分デ許サレテ
居ル兵力ノ中デ、斯ウ云フモノヲ主トシテ
備フルコトガ必要ダト云フ、其計畫ニ當テ
リマスルケレドモ、攻勢ノ作戦ヲ採ルト云
ガ出來、又ソレガ當然デアルノデアリマス
ルケレドモ、守勢作戦ヲ以テ立ツ國ニ於キ
マスルガ、ソレハ今日ニ於キマシテハ、其
ニ其爲ニ財源ヲ取テ置キマセヌデモ、必要
ノ場合場合ニ一つノ計畫ヲ立テ、サウン
テ是ガ是非トモ國防上之ヲ必要トル場合
ニ於テ一つノ計畫ヲ立テマスル、政府ニ於
コトデアリマスルカラ、昭和十一年度マデ
ハナインオノデアリマシテハ、三億八千万圓ノ
ニ海軍ト致サレマシテハ、ノデアリマスル
トヲ申スノデハアリマセヌ、先づ昭和十一
年度末マデノ間ニ所謂保留財源ガ五億八
百万圓ト云フノハ、昭和十一年度末マデノ
コトデアリマスルカラ、議會ニ於テ、議
院ニ於テ認メテモ宜シイノデゴザリマスル
カ、之ヲモウ要求シナイト云フコトデアリ
マスルナラバ、ソレナラバ減税ヲ決定スル
ノハ宜シイノデアリマス、其點が明白デア
リマセヌト、要ルカモ知レヌ、要ラヌカモ
知レヌ、マダ未確定デアル、未確定デアル
ナラバ、今日恆久的ノ財源ヲ失フノ減税
ヲスルノハ早イデハナイカト云フコトヲ私ハ
申上ゲテ居ル、故ニ之ニ代ルベキ何等カ他ニ
確定ヲ致サナクテモ、可能性ノアル財源ノ
目安デモアルナラバ、ソレナラバ宜シイノデ
アリマス、ケレドモ其目安モナクシテ唯大
藏當局ヲ信賴スル、其御言葉デハ相成ラヌ
ノデアリマス、此點ニ付キマシテハ茲ニ速
明ト矛盾ハシテ居ラヌト云フ御話デアリマ
ス、是ハ矛盾イタシテ居ルト私ハ思ヒマ

ガ、昭和十二年度以後ニ於テハ、年々六千
万圓ト云フモノガ、製艦、艦ヲ造ルト云フ
方ニ付テ保留ガシテアル次第デアリマスル
カラ、即チ茲ニ一つノ造艦計畫ヲ立テルト
致シマスレバ、昭和十一年度以前ニ計畫ヲ
立テマシテモ、矢張リ五年ナリ六年ナリノ
理由ニハナラヌト云フコトヲ、池田男爵
シテ御協賛ヲ願テ居リマスル三億七千四
百万圓ノ此案ガ幸ニ御協賛ヲ得マスレバ、
之ニ付テ國防上ノ必要トル兵力ノ骨幹ハ
備ハリマシテ、當面ノ情勢ニ於テ國防上不
安ナイト云フコトモ幾度モ申上ゲテ居リマ
スル、即チ其通りアリマス、之ニ若干ノ
兵力ヲ尙ホ附加ヘルト云フコトハ必要ト認
メテ居リマス、昭和十一年度以前ニ於テ附
加ヘル必要ヲ認メテ居リマスルガ、其必要
ト云ブモノハ豫テカラ申シマスル通り、外
國ノ海軍ノ情勢、即チ此倫敦條約ノ權利ヲ
ドウ云フ程度ニ行使スルカ、而シテ其行使ス
ルニ於テドウ云フ兵種ニ重キヲ置イテヤラム
トスルカト云フヤウナコトヲ見極メ、又技術
ノ進歩變遷等ニ鑑ミ、又内ニハ財政ノ狀況
等ヲ考慮シテカラ之ヲ決定スペキテ、今日
ソレヲ具體的ノ計畫トシテ持テ居ル次第
デハナイト云フコトヲ幾度カ申上ゲテ居リ
マスル次第アリマス、即チサウ云フ意味
ニ於キマシテ、マダ幾年カノ後ニ於テ立テ
ベキ計畫アリマスルカラ、ソレニ對シテ
特ニ財源ヲ用意イタサヌモ宜カラウト云
フ意味ニ於キマシテ、今日ノ情勢ニ於テ是
非共必要トルモノノ計畫ヲ立テマシテ、
ソレヲ實行スル上ニ於テ國防上不安ナイト
見極メマシタ、其餘剩ノ財源ト云フモノガ
是ハ矢張リ倫敦軍縮會議ノ目的ノ、主要ナ
ル目的ノ一ツアリマスル國民負擔ノ輕減
ト云フ意味ニ當リマスル其減税ト云フコト
ニ向ケラレルコトハ、是ハ當然ノコトト考

ガ、昭和十二年度以後ニ於テハ、年々六千
万圓ト云フモノガ、製艦、艦ヲ造ルト云フ
方ニ付テ保留ガシテアル次第デアリマスル
カラ、即チ茲ニ一つノ造艦計畫ヲ立テルト
致シマスレバ、昭和十一年度以前ニ計畫ヲ
立テマシテモ、矢張リ五年ナリ六年ナリノ
理由ニハナラヌト云フコトヲ、池田男爵
シテ御協賛ヲ願テ居リマスル三億七千四
百万圓ノ此案ガ幸ニ御協賛ヲ得マスレバ、
之ニ付テ國防上ノ必要トル兵力ノ骨幹ハ
備ハリマシテ、當面ノ情勢ニ於テ國防上不
安ナイト云フコトモ幾度モ申上ゲテ居リマ
スル、即チ其通りアリマス、之ニ若干ノ
兵力ヲ尙ホ附加ヘルト云フコトハ必要ト認
メテ居リマス、昭和十一年度以前ニ於テ附
加ヘル必要ヲ認メテ居リマスルガ、其必要
ト云ブモノハ豫テカラ申シマスル通り、外
國ノ海軍ノ情勢、即チ此倫敦條約ノ權利ヲ
ドウ云フ程度ニ行使スルカ、而シテ其行使ス
ルニ於テドウ云フ兵種ニ重キヲ置イテヤラム
トスルカト云フヤウナコトヲ見極メ、又技術
ノ進歩變遷等ニ鑑ミ、又内ニハ財政ノ狀況
等ヲ考慮シテカラ之ヲ決定スペキテ、今日
ソレヲ具體的ノ計畫トシテ持テ居ル次第
デハナイト云フコトヲ幾度カ申上ゲテ居リ
マスル次第アリマス、即チサウ云フ意味
ニ於キマシテ、マダ幾年カノ後ニ於テ立テ
ベキ計畫アリマスルカラ、ソレニ對シテ
特ニ財源ヲ用意イタサヌモ宜カラウト云
フ意味ニ於キマシテ、今日ノ情勢ニ於テ是
非共必要トルモノノ計畫ヲ立テマシテ、
ソレヲ實行スル上ニ於テ國防上不安ナイト
見極メマシタ、其餘剩ノ財源ト云フモノガ
是ハ矢張リ倫敦軍縮會議ノ目的ノ、主要ナ
ル目的ノ一ツアリマスル國民負擔ノ輕減
ト云フ意味ニ當リマスル其減税ト云フコト
ニ向ケラレルコトハ、是ハ當然ノコトト考

ス、其事實ヲ擧ゲテ申上ゲタイノデアリマ
スケレドモ、是ハ他ノ機會ニ譲リマスルカ
ラ、此場合ハ此コトハ言及イタシマセヌ、
シテ御記録ヲ御覽ニナリマシテ、法制
ノ見マスル所ニ於キマシテハ、今日ニ於テ
是非共必要トルモノハ別問題デアリマス、只今財
ルケレドモ、更ニ若干年延バシテ宜イモノ
ニ付キマシテハ、是ハ外國ノ狀況等ニ依ラテ
極メルト云フコトガ、當然ノ次第デアリマ
シテ、餘リ早ク極メテシマウト云フコト
ハ、却テ折角ノ兵力ニ、或場合ニハ不都合
ヲ來スト云フヤウナ場合モ生ズルノデアリ
マス、ソレデ極メテ最小ノ經費ヲ以テ、最
大ノ兵力ヲ遣テ、サウンテ國防ノ責ニ當ラ
ナケレバナラヌト云フ立前デ進ムノデアリ
マスルカラシテ、毎度申シマスルヤウデア
リマスルケレドモ、攻勢ノ作戦ヲ採ルト云
ガ出来、又ソレガ當然デアルノデアリマス
ルケレドモ、守勢作戦ヲ以テ立ツ國ニ於キ
マスルガ、ソレハ今日ニ於キマシテハ、其
ニ其爲ニ財源ヲ取テ置キマセヌデモ、必要
ノ場合場合ニ一つノ計畫ヲ立テ、サウン
テ是ガ是非トモ國防上之ヲ必要トル場合
ニ於テ一つノ計畫ヲ立テマスル、政府ニ於
コトデアリマスルカラ、議會ニ於テ、議
院ニ於テ認メテモ宜シイノデゴザリマスル
カ、之ヲモウ要求シナイト云フコトデアリ
マスルナラバ、ソレナラバ減税ヲ決定スル
ノハ宜シイノデアリマス、其點が明白デア
リマセヌト、要ルカモ知レヌ、要ラヌカモ
知レヌ、マダ未確定デアル、未確定デアル
ナラバ、今日恆久的ノ財源ヲ失フノ減税
ヲスルノハ早イデハナイカト云フコトヲ私ハ
申上ゲテ居ル、故ニ之ニ代ルベキ何等カ他ニ
確定ヲ致サナクテモ、可能性ノアル財源ノ
目安デモアルナラバ、ソレナラバ宜シイノデ
アリマス、ケレドモ其目安モナクシテ唯大
藏當局ヲ信賴スル、其御言葉デハ相成ラヌ
ノデアリマス、此點ニ付キマシテハ茲ニ速
明ト矛盾ハシテ居ラヌト云フ御話デアリマ
ス、是ハ矛盾イタシテ居ルト私ハ思ヒマ

〔男爵池田長康君演壇ニ登ル〕

○男爵池田長康君只今海軍大臣ガ豫算總
會ニ於テ述べタコトト、又法制局長官ノ說
明ト矛盾ハシテ居ラヌト云フ御話デアリマ
ス、是ハ矛盾イタシテ居ルト私ハ思ヒマ

所ノ若櫻禮次郎君ガ、時ノ岡田海軍大臣ニ尋ネテレタ一節ガアルノデアリマス、其一節ヲ私ハ茲ニ御紹介シテ置キタイ、諸君ニモ……、此地租委譲ノ場合ニ於テ若櫻禮次郎君ガ言ハレマシタ事柄ハ、此場合トヨタ似テ居リマスルケレドモ、其當時ノ場合ヨリハ、今度ノ場合ヲ方ガ、一層ニ付テヘ重要性ヲ帶ビテ居ルマデアリマス、一ツヘ倫教條約ニ依テ國防ニ缺陥ヲ來ス點ガアル、是ハ明白ダ、又海軍ノ保留財源ヲ、海軍ノ爲ニ取テアル保留財源ヲ棄テルノデアリマス、地租委譲ノ場合ニ於テノ問題トハ、餘程其本質ガ違フノデアリ、地租委譲ノ場合ニ於ケル所ノ論ハマダ今日ノ場合ヨリヘ輕イメデアリマス、然ルニモ拘ラズ若櫻禮次郎君ガ如何ナル見地ニ於テ岡田海軍大臣ニ質問シテ居ラレルカト云フ事柄ハ、議員諸君ノ御参考ニモ構成ルコトデアリマスルカラ、私ハ茲ニ御紹介シタイト恩フノデアリマス、多少前後ヘ致シマスルケレドモ、昭和四年二月一日國務大臣ニ對スル質疑ト致サレマシテ、若櫻君ガ質疑ヲシテ居ラレルノデアリマス、矢張リ海軍ノ將來國防計畫ヲ憂フルノ餘リ、岡田海軍大臣ニ質問シテ居ラレマス、ソレニ對セラレマシテ、岡田海軍大臣ヘ斯様ニ言、テ居ラレル華盛頓條約ニハ昭和六年度ヨリ着手スルコトニナシテ居リマス、從テ昭和六年度ヨリ多額ノ金ガ要ルト云フコトハ是ハ明白ナコトデアリマス、併ナガラ此財源ニ付テハ大藏當局ガ相當考慮シテ居ルト云フコトデアリマスカラ、是ホド確カナコトハナノイノデアリマス、私共ハ大藏當局ト能ク協議ヲリマスルカラ省略イタシマシテ、華盛頓會議ノ製艦休止期間ガ満了シタナラバ、戰艦ノ代艦ヲ造ラナケレバナラヌト言ハテ居ル、私ハ昭和七年ト言ハテ居ル、海軍大臣ハソレ

アリマス、ソレヲ大藏大臣ハ眼ノ前ニ海軍省カラ要求書ガ密附ケラレル迄ハ、政府ハソンナコトハ考ヘテ居ラヌデ宜イト言ハレル、是ヘ實ニ何ト云フコトデアルカ、私ハ全ク理解ガ出来ヌノデアリマス、帝國ハ前ニ申上ガタ通り島國デアルノデアリマス、島國ノ國防ハ海軍ガ最モ大切デアルノデアリマス、而モ海軍ノ勢力ト云フモノハ、海軍ノ威力ト云フモノハ艦艇ニアルノデアリマス、軍艦其他ノ艦船ガ海軍ノ威力ノ土臺デアルノデアリマス、是ノ補充ガ缺ケタラナラバ、海軍力ハ丸ズ減退シテ行クト云フコトヲ認ヌケレバナラヌノデアリマス」云々ト言シテ居ラレルノデアリマス、ソレカラ又はハ若槻禮次郎君ノ御發言ノ中デアリマスガ、「海軍大臣モ亦大藏大臣ガ何ト考ヘテ居ルト云フコトデ、ソレニ安心シテ居ラレテ、大藏大臣ガ出來ナカタラ、海軍へ止メテ宣シイノデアリマスカ(笑聲起ル)」トアリマス之ニ對シマシテ岡田君ハ「私ハ財政ノコトヘ全タ素人デアリマス、大藏大臣ノ言明ヲ信用スルヨリ他ニ方法ハナイノデアリマス、丁度私共ガ自分ノ體ガ病氣ニナツク時ニ、醫術ヲ知ラヌ者ハ醫者ノ言葉ヲ辯へ私ノ間フ所ニ當シテ居ナイト云フコトスマス(笑聲起ル)」トアリマス之ニ對シマシテ若槻君ハ斯ウ言フテ居ラレル「唯大臣ノ答ナツク時ニ、醫術ヲ知ラヌ者ハ醫者ノ言葉ヲ

言ハレル、私ノ質問ニ對シテ、マダ實施計畫ヲ立テ居ルトカ居テ又トカ云フコトヲ
ドウ履行シテ來ルカ、其他ノ安排ガアリマセウカラ、實際之ヲ實行スル所ノ御計畫ハ
今日御立テニナラクテモ宜イノデアリマス、併ナガラ昭和十一年度以前ニ必要ガア
ルカ無イカト云フコトハ、無イト云フコトヲ御斷言出來ナイグラウト思フ、無イト云フコトヲ
御斷言出來ナケレバ、其財源ノ爲ニ取テアル所ノ保留財源ヲ、即チ恆久的性質ヲ有ス
ル減税ノ財源ニ放棄セラレルト云フコトニ付テハ、私ハ海軍大臣ノ心事ヲ私ニ疑へザ
ルヲ得ヌ、又終ニ於テ大藏當局ガ考慮スルダラウ、信頼スルト云フタ御言葉ヘ、嘗
テ若規君方岡田海軍大臣ニ呈サレタ言葉ヲ以テ申上ゲル外ハナイ、能ク此點ニ付テハ、
將來國家百年ノ國防ノ大責任ヲ持ツテ居ラレ所ノ軍務大臣トシテハ、能ク此點ニ付
テ考慮ヲ願ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、唯私ハ是デ質問ヲ終リマスルケレ
ドモ、ドウシテモ御答ヲ願ハナケレバナラヌノハ、海軍大臣ト致サレマシテ、將來必
要ガアタ場合ニ於ケル財政上ノ御確信ガ、海軍大臣自ラニ御有リニナルノデアルカド
ウカ、此點ヲ私ハ伺ヒタイノデアリマス

ルカ、又段々御話アリマシタヤニ、行政整理等ヲヤルカ、増税ヲヤルカ、色々ナ事柄ガアリマシタガ、是ハ其時ニ於テドウ云フ方法ヲ執ルカト云フコトヲ申上ゲル譯ニハ無論參リマセヌノデアリマスルケレドモ、茲ニ一つノ計畫ヲ云フモノニ付テノコトハ、先程申上ゲマシタヤウニ、此度ノ計畫ガ本年度カラ起リマシテ、昭和六年度カラ起リマシテ、十一年度ニ至ル一つノ計畫デアッテ、サウシテ十二年度カラハ鬼モ角其處ニ六千万圓ト云フ財源ガ用意ヲシテアル、此用意シテアル財源ヲ無論用ヒテ、サウシテ其處ニ第二ノ計畫ヲ立テル、其計畫ハ十一年度以前ニ起ル、其財源ハ用意シテナイト、斯ウ云フ意味ニナルノデアリマシタ、私ハソコニ重ナル所ノ財源ト云フモノハ、其時ノ國防上デ是非トモ是ガ必要ニアリト云フ計畫ヲ立て、政府方考慮スル場合ニハ、出來ルダケノ方法ヲ取テ、其經費ヲ捻出シ得ラルベキモノト信ジテ居ル次第デアリマス

〔三井清一郎君演壇ニ登ル〕

三井清

○三井清一郎君 私ハ此度御提案ニナリマス
シタ所ノ地相改正案其他六件ハ、重大ナル
法案ト考ヘマシテ色々考ヘテ見マスルト、
此法案ヲ實行スル上ニ付テ種々ノ疑問ヲ生
ズルノデアリマス、カルガ故ニ私ノ疑問ト
スル五六ノ點ヲ政府ニ御尋ナシテ見タイノ
デアリマス、第一ニ政府ハ此軍縮ト減税ト
結付ケテ御考ニナッテ居ルヤウデアリマス
ガ、是ハ色ニ倫敦條約ノ關係モアリマセウ
ガ、切り離シテ十分ニ御考慮ニナル必要ガ
アリマセヌカ、此點デアリマス、問ヒハ非
常ニ簡單ノヤウデアリマスガ、此點ガ非常
ニ重要ナ事項ト私ハ信ズルノデアリマス、
御承知ノ如ク倫敦條約ハ國際平和ノ促進
ト、人類福祉ノ増進ヲ目標トシテ開カレタ
ト云フコトハ、今日何人モ疑ハナイ所デア
リマス、又我ガ政府モ此處ニ重キヲ置イテ、
即チ軍縮ニ依テ財政ノ餘剩ヲ作り、之ヲ以
テ現今ニ於ケル此逼迫シテ居ル生活狀態ヲ
救濟シテ行ク、即チ國民ノ負擔ヲ輕減シヤ
ウ、斯ウ云フ考デ、進ンデ此會議ニ參加セ
ラレタト云フコトモ能ク明カニナッテ居ル
次第デアリマス、併ナガラ此條約ヲ締結ス
ル會議ニ參加シタカラト申シマシテモ、一
國ノ國防ノ最少量、即チ自國ヲ守ル所ノ兵
力量ヲ維持シナケレバナラスト云フ所ノ此
程度ヲ考ヘテ、此會議ニ參加スルト云フコ
トハ申ス迄モナインデアリマス、故ニ我ガ
全權ハ出發前ニ於テ所謂三大原則ヲ能ク御
考ヘニナッテ、又之ヲ何處マデモ主張スルト
云フ決意ヲ以テ會議ニ臨マレタト云フコト
ハ、是亦何人モ疑フ所ハナイノデアリマス、
然ルニ御承知ノ如キ經過ヲ辿リ、今日我國
ニ於テハ朝野殆ド此條約ノ締結ノ結果、國
防上ニ缺陷アリト考ヘテ居ル次第アリマ
ス、又我ニ國民ガサウ考ヘルバカリヂヤア
リマセヌ、御承知ノ御方モアリマセウガ、
米國ニ於テハ斯ウ云フコトヲ言フテ居リマ
ス、日本代表及ビ政府ハ非常ニ困難ナル立

立場ニ立ツニ非ザレバ之ヲ理解スルコト難カラシ、全米國代表ハ是等ノ事ニ依リ、日本代表及日本政府ニ未曾有ニシテ甚大ナル讀辭ヲ呈シタリ、米國ガ日本ヲ凌駕スルマデ日本ハ自ラヲ拘束シ、足踏條約ヲ締結セル勇氣ト目ツ自カラ千九百三十六年後條約ガ接續セザル場合ニ際シ、米國ニ好地位ヲ能フル條約ヲ強ヒテ締結シタル日本政府ハ、容易ナラザル難局デアツノデアル、此難關ハ議論ヲ以テ律シタリ、財政上經濟上ノ事情ニ依リテモ律シ能ハザルベク、如何ナル貧弱國デモ製裁競争デ威壓サレルモノデハナイノデアル、余ハ此條約ニ關シ日本政府ニ敬意ヲ表シ脱帽スル者デアル、斯ウ云フヤウニ米國デモ言フテ居ルノデアリマスカラ、何方ノ方面カラ考ヘテ見マシテモ、此條約ノ結果ハ國防ニ缺陷ヲ生ズルト云フコトハ斷言シテ差支ナイト信ズルノデアリマス、本議場ニ於テ度々之ニ對スル質問應答ガアリマシタガ、結局第一補充計畫ト云フモノガ現ハレ、サウシテ此缺陷ヲ補充スルト云フコトニナツタコトハ、缺陷アリト云緯ガアリマシタガ、結局第一補充計畫ト云ハ信ズルノデアリマス、如何ニ言葉巧ミニ御答辯ニナリマシテモ、事實ガ之ヲ證明シトルノデアリマス、故ニ此海軍ガ昭和六年度以降六年間ニ五億八百万圓ノ財源ヲ保留シタ、此財源ガ此缺陷ヲ真ニ補充ラシタナラバ、無論足ラナクテモ、餘剰ガ出ル筈ハナイノデアリマス、然ルニ政府ハ無理ニ此補充計畫ヲ或程度ニ制シ、サウシテ御承知ノ一億三千四百万圓ト云フ金ヲ擇り出しシ、之ヲ以テ今回ノ減税案ヲ仕組マシタノデアリマス、私ハ此今回ノ減税案ハ斯ウ云フ點カラ出發シテ居リマスルカラ、甚ダ不純ナ

ガナイノデアル、大々的ニ減税ヲシテ國民ヲ休養サゼナケレバナラヌト云フコトニキマシテハ、何等ノ異存ガナイノデアリマスルガ、唯減税ト倫敦條約ヲ無理ニ結付ケテ、偶然ニモ六箇年度デ五億八百万圓ト云フ財源ガアル、是モ實際金ガアツノ財源デナクシテ、所謂計數上ノ財源デアリマス此財源ヲ二ツニ區分シ、兩方ヲ實行シヤウト爲サレマシタカラシテ、所謂兩兔ヲ追フテニ鬼ヲ得ザル結果ニ陥リヤセヌカト恩フノデアリマズ、一體此五億八百万圓ト云フ保留財源ト云フモノハ、十五億以上ノ歲入ニアツタ時ニ財政計畫ノ中ニ織込マレタノデアラウト思ヒマス、彼ノ時代ニハ豫算上デハ十五億デアリマシテモ、自然增收ガアリマシテ、年々一億以上ノ剩餘金ガ出來タ時ニアリマスルカラ、其當時ノ十五億ノ歲入豫算ハ十六億乃至十七億收入ガアツタノデアリマスゾレテアリマスカラ、此五億八百万圓ト云フ繼續的ノ支出ノ計畫ハ無理ハナカツタノデアリマスルガ、今年愈、實行セムト云フ時期ニナリマシテハ、十四億ノ歲入ガムツカシイト云フ狀況ニナリ來タノデアリマス、此十四億ノ歲入ガムツカシイト云フ現時ノ狀況ニ於テ、十五億、十六七億ノ歲入ノアツタ時ニ計畫シタ其數字ヲ其儘取テ、サウシテ一部ハ海軍ノ補充計畫ニ充當シ、其一部分ヲ減税ニ引當テル、斯ウ云フ意味ニ爲サレタト云フコトハ、畢竟此條約ト減税ト云フコトヲ確々カリ釘付ケニシテ、之ヲ別ニ考ヘラレナカツタ結果チヤナイカト考ヘルノデアリマス、我ミハ會議ノ目的ガ假令國民負擔ノ輕減ニアルニモセヨ、既ニ會議ヲ結了シタ後ハ、内政ニ付テハ政府ノ自由自在ニ、如何ナル方法ヲ執ラレテモ差支ナイト

信ジテ居ルノアリマスルガ、ドウモ此五
億八百万圓ニ引摺ラレテ、大々的ニ減稅ヲ
スルト云フ御決心ガ出來ナカタノハ、甚ダ
遺憾ト存ズルノアリマス、斯ノ如キ最初
ノ出發點ガドウシテモ條約ト減稅トヲ切離
スコトガ出來ナイト云フ觀念カラシテ、今
日ノ僅ニ一億三千四百万圓ノ減稅ヲヤッテ、
即チソレヲ六年間ニ配當ラシ、初メノ年
即チ昭和六年度ニ於テハ僅ニ九百何十萬
圓、諸稅公課ノ僅ニ一分ニ過ギナイ、又平
年ニ於キマシテモ二千五百万圓、諸稅公課
ノ三分ニ過ギナイ、此世評ガ雀ノ涙、或ハ
勺水以テ火ヲ救フニ類セリト云フヤウナ批
評ヲスルヤウナ、眞ニ名ノミデ實ノナイ減
稅案ヲ仕組マレナケレバナラヌト云フニ立
至ツタコトハ、甚ダ遺憾トスルノアリマ
ス、私ハ前回ニ於テ大藏大臣ニ質問イタシ
マシタ所ガ、私ノ質問ハ、大藏大臣ハ國庫ノ
財源ヲ充實スルニ付テノ工夫ヲ凝ラスダケ
ノ責任ヲ御持チニナッテ居ルコトヲ申上ゲ
タ所ガ、根本ニ於テ三井君トハ意見ヲ異ニ
スル、我ニハ收入ガアタラソレダケデ支
出ヲヤツテ、景氣ノ來ルノヲ待ツト云フヤウ
ナ御答ガアツテ、私ハ其御答ニ對シテモ實ハ
心中驚イタノアリマス、斯ノ如キ御考デ
アツテハ、私ハ今日最モ重要ナ此國民負擔ヲ
輕減シテ民力ヲ休養シナケレバナラナイ、
最モ大事ナ時期ニ於テ、却テ後ニハ増稅ヲ
シナケレバナラナイ事實ガ發生セナイカド
ウカト云フコトヲ、非常ニ憂慮スル一人デ
アリマス、兎ニ角斯ノ如キ僅少ナル所ノ減
稅ハ私ハ寧ロ能ク研宄シテ、急ガナイデ、ヤ
ル時ニハ大々的ニヤル方ガ宜イト考ヘルノ
デアリマス、併シ茲ニ至ツタコト云フ其根本ハ、
私ハ政府ガ倫敦條約ト此減稅ト云フコトト
引離スコトガ出來ナイ觀念カラ、斯ウ云フ
結果ヲ生ジテ居ルト考ヘマスルガ、政府ノ
御所見ハ如何デアリマスカ、第二ニ私ハ政
府ガ此減稅案ヲ提出シテ、之ヲ實行セラマ
ムトスルナラバ、將來恆久的財源ヲ要シマ

スルガ、之ヲ實行シテ、將來ニ於テ支障ナキヤ否ヤ、此點デアリマス、此承知ノ如ク保留財源ノ五億八百万圓ト云フモノハ臨時費デアリマシテ、昭和六年カラ十一年マデ六箇年間ノ繼續的ノ經費デアリマス、其總額ガ五億八百万圓デアルノデアリマス、此中ノ一億三千四百万圓ヲ切り取テ減税ノ財源ニ充テマシタノデアリマスカラ、軍縮ノ餘剩ヲ以テ國民負擔ノ輕減ヲスルト云フコトヘ、此六箇年ニ限ルノデアリマス、ソレカラ先ハ恆久的財源ヲ見付ケテ行カナケレバ此實施ガ危ナイノデアリマス、テ私ハ豫算總會ニ於キマシテ、海軍大臣ト質疑應答ヲ重ネマシタ結果、今回ノ條約ニ基キ又第一補充計畫ヲ實行シ、サウンテ此兵力ヲ維持セント致シマシタナラバ、多大ノ經費ヲ要スルガ、如何デアルカト云フコトニ付テ實問應答ヲ致シマシタ所ガ、海軍大臣ハ到頭最後ニハ幾ラ考へナクテハナラヌト云フ濁々ク御言葉デアッタノデアリマシテ、我ミハ海軍大臣ノ胸中ニハ我ミト同様ノ心配ガアルガ、現在ノ地位上赤裸々ニ御答ガ出来ルノデアリマス之ヲ細カク申シマスト、一日申上ゲテ居ツテモ事盡キマセヌカラ、私ハ摘シテ極ク大要ヲ申上ゲマスルガ、昭和六年カラ十一年度ニ至ル年次表及新計畫ノ艦艇及航空隊等ノ維持費ハ、我ミガ最モ消極ニ、而モ此計算ハ海軍ガ從來ヤツテ居ル殆ド半額位ニ見積ムデス、尙ホ此維持費ガ七百三十九万圓餘要スルノデアリマス、ソレニ御承知ノ條約ノ權利ヲ行使セントシタナラバ、三万二千九百噸ノ建造ヲ要シマスコトハ、海軍大臣ノ答辯デ明カナノデアリマス、此經費ヲ見積リマスト云フト、一億四千八百餘万圓ヲ要スルノデアル、ソレカラ第二次計畫ナドト云フモノヲ先づ考へナイ

レダケ要ルト云フコト、最小限九百五十五万圓、是ハ衆議院ニ於テノ開答、貴族院ニ於テノ開答デ、殆ド此額ハ一致シテ居ルノデアリマス、ソレヲ合計シマスト、十一年度迄ニ一億六千五百万圓ノ金ヲ要スルノデアリマス、此上海軍大臣ガ過日衆議院ニ於テ御答ヘニナリマシタ所ノ第二次計畫ハ若干頭ヲ漏ラシテ御出サヌナラスト云フノ御意向ヲマシテモ一億三四千万圓ヲ要スルノデアリマス、是等ヲ合計イタシマスト、三億餘ノ経費ガ將來ニ於テ要ルノデアリマス、此三億餘要ルト云フコトハ、海軍大臣ノ胸中ニハ明カニ分ツテ居ラレルノデアリマスルガ、確實ニ是ダケ要ルト云フコトハ、マダ計畫ニ著手シナイカラ、何トモ言ヘナイト云フルト、今茲ニ一億三千四百万圓ヲ減税シテモ、何時カ其金ハヨリ以上ノモノヲ要スルト云フコトハ、首相代理モ大藏大臣モ認メラレテ居ルノデアリマス、又我ミガスルト、即チ十年間ノ概計表ヲ検討シテ見マスルト甚ダ此財政計畫ガ基礎ガ危イノデアリマス、私ガ此財政計畫ノ内譯ヲ政府ニ提出ヲ要求イタシマシダケレドモ、到頭確ナ内譯表ガ出マセヌ、到頭海軍ノ繼續費ト其他ノ繼續費ト、及ビ其他ノ豫備的ニ持ツ金ノ此三ツニ分ケタ内譯表ヲ頂戴シタノデアリマスルガ、之ニ依テ見マシテモ、海軍大臣ハ常ニ仰セラル所ノ十二年以降ノ六千万圓ノ保留ヲシテ、其残リハ各省ノ繼續費ヲ計上シテ、其他トシテ残^タテ居ル金ハ五六千萬圓ニ過ギナインデアリマス、是ハ我ミノ豫算ニ付テ終始著意シテ居ルモノカラ見ルト、誠ニ貧弱ナ豫備費のモノノデアリマシテ、年々災害復舊其他ノ追加豫算ハドウシテモ四五千万圓ハ要スル、其外ニマダ色ミ

ノ公約的保留ノ金ガ此六千万圓バカリノ中
ニ這入フテ居ルノデアリマス、到頭はハ金ガカリノ中
足ラヌト云フコトニナルノデアリマス、而
シテ財政計畫ハ昭和六年度ノ豫算ヲ基準
トシテ財政計畫ガ出來テ居リマスルカラ、
今後ニ於テ財界ノ不況益、深刻化シテ歲入
ガ減ジタナラバ、到底此財政計畫ヲ維持ス
ルコトハ出來ナイノデアリマス、斯ノ如キ
基礎ノ弱イ財政計畫ニ依テ而モ將來三億
以上ノ負擔ヲ豫期シテ、而シテ一億三千四
百万圓ノ減税ヲ茲ニ計上セラレタカラト云
ウテ、決シテ現政府ノ御手柄デハナイト信
ズルノニアリマス、而シテ我々ハ歲入ノ狀
況ハ如何ト研究ヲ致シテ見マスルト、是ハ
私ハ本會議ニ於テモ、昭和五年度ニ於テ大
體ノ質疑ヲ致シマシテ、政府ニ要求ラシテ
アリマスルガ、一向其書類が出来マセヌ
カラ分リマセヌ、即チ私ノ要求イタシマシ
タノハ、此本會議バカリデヤナイ、豫算總
會ニモ二回私ハ此書類ヲ要求シタノデアリ
マス、即チ我々ハ五年度ノ歲入缺陷ハ、六
年度ノ歲入ヲ審査スル上ニ於テ最モ必要ナ
資料デアル、五年度ニ非常大缺陷ガアルト
スレバ、六年度ノ歲入ハ餘程注意シテ審査
ヲシナケレバナラス、此審査ノ資料トシテ
要求シタノデアリマスガ、出マセヌノデア
リマス、其要求シタ書類ハドウシテモ行政
廳ガ豫算ヲ確實ニ執行スル上ニ付テハ、必
要ナ計算書デアリマス、所謂行政決算、中
仕切決算ト申シマス、是ガ一月ノ初メニ各
省ハ取テナケレバナラナイ、若シ例年ハ經
費ニ餘裕ガアッテ、ソレダケノ心配ガナイト
致シマシテモ、今日ノヤウニ此收入ノ非常
ニ減少スル場合ニ於テハ、ドウシテモ取ラ
ナケバナラヌ書類デアリマス之ヲ總括シ
テ見ルト云フト、三月盡日マデニドレダケ
ノ支出見込ガアルト云フ確實ナ數字ヲ握リ
得ルノニアリマス、ソコデ昭和五年度ノ歲
入ノ缺陷ハドレダケアル、ソニデ歲出ガ是
ダケ要ル、ドレダケ不足スルカ、餘ルカト

云フ確實ナ數字ヲ見得ルノアリマス、又見得タナラバ、我ミハ昭和六年度ノ歳入ニ付テ審議イタシマスノニ、政府ヲ信頼スルニ足ルノアリマスルガ、唯歳入ハ、五年度ハ缺陷ハナイト、煙草ノ專賣ノ賣上金二千万圓、或ハ各省ノ不用額約二千万圓ト見テ差支ナイト云フ、唯空ナ想像のノ數字ヲ御述ベニナッテ居ルニ過ギナインオーリマス、外ノモノナラバ、私ヘ右ヘ行テモ、左ヘ行テモ融通ノ付クモノナラバ宜ノデアリマスルガ、此經濟ノコトハ本當ニ確實ナ數字ヲ握ラナケレバ、議論ハ出來ノイマス、故ニ此要求ヲシタノアリマス、リマスルガ、出マセヌカラ、到頭昭和五年度ノ歳入ガ如何ナル狀況ニアルカト云フヨトハ確實ナ所ヲ突キ止メ得ナカツ、ソコニ昭和六年度ノ歳入ヲ我ミガ研究ヲ致シテ見即チ九千八百万圓ノ歳入ガ政府ノ豫定ヨリマスルト云フト、政府ノ御見積リニナッテ居ル所ノ歳入ハ九千八百万圓バカリ見積り過大ニ我ミハ検定ヲシテ居ルノアリマス、又前年度ノ歳入ハ尙ホ我ミガガ出マセヌカラ、我ミノ方デ研究シテ見即チ九千八百万圓ノ歳入ガ政府ノ豫定ヨリマスルト、是モ尙ホ政府ガ八千八百万圓ノ行政経済化デ節約ヲシタト仰シヤイマスガ、其八千八百万圓出來タモノトシテ尙ホドレダケ不足スルカト云フト、五千萬圓バカリ不足スル計算ニナリマス、併ナガラ五年度ノ決算ニ付キマシテハ、政府ハ稍樂觀シ得ル原因ヲ御持チニナッテ居ル、ト申シマスノハ昨年ノ行政經濟化ノ際ニ於テ、海軍ト陸軍デ二十四、五百万圓ノ、此一年度翌年ヘ繰延ラヤッテ居リマス、二千四五百萬圓ノ中、陸軍ノ方ハ七月頃ニ、所謂七月ノ初メニ決定ヲシテ居ルヤウデアリマスルガ、海軍ノ方ハ容易ニ其金ヲ出スコトガ出來ナクテ、苦心慘澹シテ交渉ヲ重ねタ結果、十月ニ至ラテ初メテ千五百何十万圓ト云フ金ヲ

テ明カリニナシテ居リマス、又此質問應答ヲシテモ、其答ヲ得タノデアリマス、此二千五百万圓バカリノ金ヲ豫算ノ實行、就中會計年度ノ半バ以降ニ於テ、是ダケヲ切取テ翌年ニ繰延バスト云フコトハ、非常ニ是ハ豫算執行者トシテハ難儀ナ次第デアル、私ハ是ダケノ大キナギナヨ翌年ヘ繰延バス結果ガ、如何ナル事實ガ其間ニ伏在スルカト云フコトヲ憂慮スルモノデアリマス、即チ契約ヲ解除スルカ、若クハ繼續費デ契約ヲシテ居ルモノデアツタナラバ、其支拂ヲ翌年度ヘ繰越ス、幸ニ會計規則ハ工合好ク出來居リマス、支拂ノ屬スル年度、會計年度ノ區分ガ支拂ノ屬スル年度トナシテ居リマスカラ、大變工合ガ宜イノデアリマス、繰延ヲヤレ、併ナガラ或ルモノガ出來上ツテソレヲ受取ラナイデ置キ譯ニ行カナイ、艦船ノ如キハドウシテモ受取ラナケレバナラナイ、受取ルト云フト其處ニ維持費ガ要ダ、斯ノキ事柄デアラウト思フノデアリマス、斯ノソレヲ動カサナケレバナラナイ、併ナガラ金ハ拂ヘナイ、斯ウ云フ事實ガ發生スルモノトシタナラバ、是ハ會計上餘程注意スペシテ、赤字ヲ出サズニ済ムコトが出來ルカモ知レマセヌガ、是ハ行政執行ノ手續デハナイ、既ニ會計法ノ根本ノ精神ニ反シテ居リマスカラ、注意ラシナケレバナラヌコトデアル、又非常ナ不經濟行為デアリマス、契約シタモノヲ解除スルニハ、時ニ依テハ、相當ノ賠償ヲシナケレバナラナイ、又出來上ツタモノニ金ヲ拂ハナカクナラバ、之ニ對スル金利ヲ支拂ハナクテハナラナイ、請負或ハ指定工場ノモノガ出來上ツテモ、此金利ヲ要求シナイトシマシタナラバ、是ハ時カノ中ニソレダケノモノハ混合セラシナケレバナラナイト云フコトハ明カデアリマス、カルガ故ニ斯ウ云フ行政行為ト云フモノハ、餘程注意ラシナケレバナラヌコト

ト私ハ考ヘルノアリマス、斯ノ如ク研究シテ見マスルト云フト、歳入ノ缺陷ハ非常ニ大キイ、將來マダ我ミモ餘程綿密ニ調べマスガ、此數字ヨリモ尙ホ大キニナルカモニ知レナイ、斯ウ云フヤウナ状態ニ於テ、既ニ海軍デハ三億、尙ホ此歳入ノ状況カラ九千八百万圓、斯ウ云フ状態ニ於キマシテ今一億三千四百万圓ノ減税ヲ組立テラレ、其減税ガ非常ナ有效ナ減税ナラバ、我ミハモウ詰ラナイコトヲ申シマセヌ、雙手ヲ舉ゲテ贊成スルノデアリマスルガ、世評ニアル如ク、雀ノ涙ノヤウナ減税ヲ爲サレ、此減税ノ内容ニ付テハ後ノ問題ニ付テ申上ゲマスルガ、鬼ニ角斯ウ云フ状態デアリマスルカラ、私ハ此恒久的財源ガ如何ニシテ立テラレテ居ラレルカト云フコトヲ承リタイノデアリマス、茲テ打切ツテ置キシテ、午後休憩上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 休憩ヲ致シマス、午後ハ一時三十分カラ開會イタシマス

午後零時三分休憩

午後一時五十九分開議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、議事ノ都合上暫時休憩イタシマス

午後二時休憩

午後二時四十九分開議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ書記官ヲシテ報告ヲ致サセマス

〔瀬古書記官朗讀〕

○議長(公爵徳川家達君) 休憩前ニ引續キ本日委員長ヨリ請願委員根本祐太郎君ヲ第ニ分科擔當委員ニ選定シタル旨ノ報告書ヲ提出セリ

○三井清一郎君 午前ニ續キマシテ御尋ヲ致シマス、第三ニ、政府ハ一方ニ減税ヲ爲サレ、一方ニ増税ヲセラレルト云フヤウナ

狀況ニアリマス、今後財源滋養ニ御盡力ニナリマセナカツアラバ、五六年后ニハ必ズ増税セナケレバナラヌヤウニ立至ルト考ヘルノデアル、午前述ベマシタ如ク、財源ガ非常ニ枯渴シテ居リマス、ドウシテモ斯ウ云フ結果ハ來ルト思ヒマスガ、政府ノ御所見ハ如何デアルカ、政府ハ減税ヲ計畫セラレマシタガ、一方ニハ失業救濟ノ爲ニ公債ヲ…鐵道ヲ除キマシテ一般會計デ二千三百五十万圓募集セラレタ、此公債ノ二千三百五十万圓ハ首相代理ノ御答辯ニ依リマスト、一年限リダト仰セニナチ居リマスルガ、我ミハ現下ノ此財界ノ狀況カラ推究イタシマシテ、到底一年限リデ此救濟ヲ止メルト云フコトハ如何ナル人ガ御考ヘニナシテモ諒承出來ナイト思フノデアリマス、財界ガ何時回復スルカ、此經濟上ニ實際家、學者等ノ誰モ此先キヲ見透シ得ル人ガナイト云フ今日ノ狀況デアリマス、世界ノ不況、是ガドノ程度ニ影響シテ居ルト云フコトモ疑問デアリマスルガ、此世界ノ不景氣ガ影響シテ居ルト致シマシテモ、今日ノヤウナ金ノ争奪戦ガアリ、或ハ生産過剰ニ陥テ居ル、其他自給自足ヲヤル結果貿易ニ垣根ガアリマス、斯ウ云フ有様デ進ンデ居リマシタラ、ココ四五年此景氣ガ回復スルト云フコトハ何人モ斷言スルコトハ出來ナイノデアリマス、從テ私ハココ五年、先づ昭和七年カラ五年間、矢張リ二千万圓程度ノ失業救濟ヲ致シマストスレバ、茲ニ一億ノ金ヲ要スルノデアリマス、又御承知ノ生絲融資補償法ガ發動ニナツテ居リマス、此二十万摺ノ足搔キニ付キマシテハ、目下新聞ニ出テ居ル如ク色ミ研究セラレテハ居リマスルガ、結局ハ政府方二千四百万圓位ノ交付公債ヲ出サナケレバナラヌヤウニ至リハセヌカト思フノデアル、ソレニ近頃御提出ニナル追加豫算デ、海軍ノ工廠ノ從業員ノ整理、之ガ爲ニ此資金ガ六百八十万圓ヲ要スルノデアル、ソレカラ御承知ノ如ク現政府ハ公債

非募債主義ヲ御執リニナリ、且ツ國債ヲ低減シヤウト云フ政策ヲ御執リニナッテ居ルノデ、獨逸ノ賠償金ハ昨年ノ臨時議會ニ於テ特別會計へ入レルコトニ爲サレマシタノガ、此六百三十万圓ノ金ハ昭和六年度カラ一般會計ノ收入ノ方ニナッテ居ル、即チ減債償還資金ノ方ニ繰入ノ分ハ外シタノデアル、是等ヲ合計シテ見マスルト一億七千四百万圓トナルノデアル、ココ五年ノ間に一億七千四百万圓ノ公債其他ノ借入金等ヲセナケレバナラヌ、是ハ一方ニ於テ國民ノ負擔ヲ増加スルノデアリマスカラ、結論トシテハ増稅ニナル次第デアリマス、其外恩給遞増ノ金ダトカ、又地租改正ニ依リマシテ第二回ノ貨貸價格ノ調査ヲ致サンナラヌ其經費ダトカ、或ハ若シ小作法ガ通過イタシマスレバ是ノ人件費ダトカ、斯ウ云フモノノデ約八百万圓バカリ要ルノデアリマス、其外米穀法ガ通過イタシマスト借入金五千万圓要ル、斯ウ云フヤウナ狀態ヲリマスルカラ、ドウシテモ我ニハ此一方ニ一億三千四百万圓ノ減稅ヲ爲サレルガ、他面ニ於テハ此年限内ニ一億七千四百万圓ニ余アトニ附加ヘタモノガ觸エテ來ル、之ヲバランス「ヲ採」テ見マスルト一向減稅ニナラナイ、却ツテ増稅ノ結果ヲ來クスノデアリマス、諱ク申シマセヌガ、之ニ對シテ政府ハ如何御考ニナツテ居ルカ、第四ニハ今回ノ減稅ハ軍縮剩餘金ヲ以テ計畫セラレマシタガ爲ニ、稅制ノ根本ニ觸レテ改正セラレタノデハナイノデアリマス、從ツテ直接稅ト間接稅ノ權衡ヲ得ザル點ガ多イ、斯ウ云フ状況デアリマスカラ、寧ロ行政、財政、稅制ノ整理ヲ實行スルト云フコトヲ御聲明ニノテ居リマスルカラ、此時マデ、即チ行政、財政、稅制ノ整理ヲシテ財源ヲ済養シ、而シテ稅制整理ハ根本的ニ體系カラ課稅標準カラ、總テ負擔ノ公正カラ、悉ク研究ヲシテ、同時ニオヤリニナックラドウカ、ソレマデ暫ク此減稅ト云フコトヲ保留

ウ思フノデアリマス、御延期ニナフテハ如何、此
我々ハ此租稅中ニハ納稅者ノ經濟力ニ應ジ
マシテ課スル所ノ直接稅ト、其經濟力ニ顧
慮スルコトナク課スル所ノ間接稅ガアリマ
ス、此兩者ノ權衡ヲ得ルコトハ稅制上最モ
重要ナルコトデアリマス、況ヤ今日ノ如キ
國民生活ガ脅威セラレテアル場合ニ於テオ
キデアリマス、政府今回ノ御提案ハ昨日長
岡君ノ質問セラレタ如ク、一方ニハ增稅ト
マセヨトガ明カデアリマス、即チ課稅標準
ト稅率ノ改正ノ結果、地租ガ平年ニ千八百
十一万圓減稅トナリマスルガ、地租納入者
ノ全體ガ平等ニ此恩典ニ浴スルノデハナク
シテ、農村ノ田畠ノ負擔ハ約千六百万圓ヲ
減ジ、宅地ノ負擔ハ約五百万圓ヲ增加スル
ト云フコトハ、昨日大藏大臣ガ此席デ御述
ベニナツノデアリマス、斯様ニ一方ニハ減
稅ヲ致シマスト共ニ、一方ニハ增稅ノ事實
ヲ生ズル、殊ニ私ハ長岡君ハ此增稅ハ六大
都市等ニ付テ御述ベニナリマシタガ、私ハ
農村デモ皆様ガ御承知ノ如ク、宅地ダケヲ
持テサウシテ効イテ食テ居ル者ガ、一村
ノ三分ノ一以上ト考ヘテ居ルノデアリマ
ス、宅地稅ガ増加スルト云フコトハ漸ク宅
地ト小サナ家ヲ持テ居ル一番下層ノ者ガ
負擔ヲ大キクスルト云フコトニナリマスノ
矣、是ハ最モ私ハ現政府ノ社會政策的ニ色
御考ヘニナル上カラ見レバ、注意ズベキ
コトデアラウト信ズルノデアリマス、今日
ノ場合此標準改正ハ誠ニ研究ヲ要スルコト
ト思フノデアリマス、我々ハ寧ロ此減稅ヲ
延期シテ、民衆ノ爲ニハ政府ガ煙草ノ引下
故ニ此煙草ノ値段ハ高イ、ソコヘ持テ行
チ、總テノ物價ガ三割五分乃至四割以上低
落シテ居ルノニ、政府專賣ノ煙草ハ何等ノ
値下ラシテオ出ニナリマセヌ、元來此煙

草ハ一般ニ中以上ノ人ハ煙草ヲ喫シ過ギルト害ガアルトカラ色々申シマスルガ、此勤勞シテ居ル者ハ煙草バカリ吸フテ居チハ勤ヶナイカラ、是ハ喫ミ過ギモ何モシナイノデアリマス、皆様ガ郊外ヘ御散策ナサル時ニ、田烟ノ畔ニ腰打掛けテ一服吸フト云フ、此氣分ヲ御味ハヒニナフナラバ、成程必要ダトスウ云フ御感ジガ出ルダラウト思ヒマス、一日孜々營々ト勤イテ、其間ニ疲勞ヲ醫スル爲ニ煙草ヲ一服吸フテ、是ガ無限ノ味合ト無量ノ慰安ニナルノデアリマス、煙草ハ贅澤品、不健康品デアル、斯ウ云フモノヲ吸フト云フコトハ、働く力ズニ煙草ヲ吸カシテ居ル結果デアリマシテ、勤労ノ人ガ煙草ヲ間ニ吸フテ慰安ヲスルト云フコトハ最モ私ハ必要ト考ヘルノデアリマス、私ハ元來煙草ヲ餘計喫ミマセヌケレドモ、サウ云フ感ジガスルノデアリマス、サウシテ是ハ大衆的デアリマス、此煙草ノ値ヲ下ゲナイデ御置キニナフテ、サウシテ一方ニ後カラ述ベマスガ、色ニマダ研究ノ餘地ガアル所ノ此減税法案ヲ御出シナルト云フコトハ、私ハ若干ノ疑問ナキ能ハズデアリマス、又此減税ヲナサルノニ我我が殊ニ此貴族院トシテ最モ希望シタ所ノ救護法ガマダ確定セナインデアリマス、此兩三日間ノ新聞ヲ讀ミマスト、競馬法ヲ改正シテ此財源ヲ取フテ約七八十万圓ヲ救護法ノ資金ニスルト云フヤウナコトが出テ居リマシタガ、果シテサウデアリマスルナラバ私ハ誠ニ意外トスル所デアリマス、救護法ヲ實施イタシマスレバ四百万圓位ヲ出シテヤランナラヌノデス、少クモ其半額ニ二百万圓ハ出シテヤラヌナラヌノデス、此方面委員ガ窮状ヲ訴ヘク此言葉ヲ聞クト我ニハ知ラズ識ラズ落涙スルノデアリマス、斯ノスペキヨクトト考ヘルノデアル、尙ホ私ハ今日ノヤウナ社會狀態ニ於キマシテハ間接稅

ヲ減ズル方ガ寧ロ宜イト思フノデアリマス、無論間接税モ色ミアリマス、藏相ハ昨
日間接税ヲ減ズルト云フト、矢張リ此小賣
其他ガ一向價格ヲ下ゲナケレバ、減ジタダ
ケノ效果ガナイト云フ、ソレハ僅カナ或品
物ニ付テ一厘カ一錢カノ減税ナラバ無論大
シタ影響ハアリマスマイ、併ナガラ相當ノ
減税ヲシテ、而シテ暴利取締ヲ嚴重ニナサ
レタナラバ、決シテ效果ガ舉ラヌコトハナ
イト信ズルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ
關係カラ私ハ是非政府ガ行政、財政、之ヲ
根本的ニ御整理ニナフテ、是ニ財源ヲ十分御
造リニナリ、而シテ減税ヲ最モ公正ニ、且
ツ課税標準ヲ適當ニシ、負擔ノ公正ヲ期シ、
サウシテ今日ノ此地方ノ窮状ヲ幾ラカ救
ヒ、民力ヲ休養スルヤウニシテ戴キタイト
思フノデアリマス、故ニ今急イデ僅ニ六年
度デ九百万圓、僅カナ減税ヲナサレルヨリ
モ、モウ少シ慎重ニ御研究ニナフテ欲シイト
考ヘル者デアリマス、第五ニ今回御提案ノ
減税ノ中デ、營業収益稅、砂糖消費稅、織
物消費稅ハ、單ナル減税デアリマスルガ、
地租ハ現行ノ土地價格主義ヲ收益主義ニ御
改メニナクダノデアリマス、即チ地價ニ據ル
ノヲ御止メニナッテ、土地ノ貨貿價格ヲ課稅
標準ト定メラレタノデアリマス、是ハ地租
稅制ヲ歴史的ニ考ヘマスト云フド一大變革
デアリマス、前内閣時代ニ於キマシテハ、
地方ニ此地租ヲ委譲セントシタコトモアリ
マス、故ニ此變革ハ十分ナル研究ヲ要スル
ト考ヘルノデアリマスルガ、政府ハ此案ヲ
稅制委員會トカ、其他相當機關ニ御諮詢ニ
ナフテ、一般ノ空氣ヲ御覽ニナクダノカドウ
カ、之ヲ伺ヒタインデアリマス、元來現行
地租ノ根據法規ハ、御承知ノ如ク明治六年
ノ七月ノ第二百七十二號布告、地租改正條
例ニ依ズ、地價ヲ課稅標準トシタノデアリ
マス、爾來數回ニ瓦リマシテ、地價ノ不權
衡ヲ是正シ、三十一年ノ法律三十一號ニ依
リマシテ、田畠地價ノ修正ヲ行ヒ、更ニ明

治四十三年法律第三號ニ基キマシテ、賃貸ノ標準トシテ、宅地ノ地價ヲ修正シタガ、日ニ於キマシテハ、國民一人ニ一十二圓餘ヲ負擔スルコトニナツテ居リマス、即ち歐洲アルノデアリマス、物價ハ尙ホ大正三年ノ指數ニ對シテハ二十六七多イノデアリマスガ、併シ非常ニ低落シテ來マシテ、漸次大正三年ノ物價指數ニ接近シテ居リマス、其他財界ノ有様ガ漸次此戰前ニ歸ラウトシツツアル、而モ此地租ハ少シモソレニ近ヅカナイ、斯ウ云フ狀態ニアリマス、二倍半デアリマス、併シ最早此地租モ伸張力ヲ缺イテ來マシテ、國稅トシテハ六千七百万圓程度ヲ維持シテ居ルノデアリマス、サウシテ御承知ノ如ク酒稅、所得稅、關稅、砂糖消費稅ノ次ニ地租ガ位置スルヤウナ狀態ニアリマシテ、是等ノ地方稅ハ一億二千万圓ニ上ボテ居リマス、斯様ニ地租ハ國庫カラ幾ラ幾カ離レテ、地方財政ヲ助ケテ行クト云フ情勢ニアルノデアリマス、カルガ故ニ地租ノ課稅主體ヲ地方ニ委譲セントスル論ガ生ジ、又現政府ノ執ラレル如ク課稅標準ヲ貨幣價格ニ改正スルト云フ案モ出テ來ル所、以デアリマス、我ニハ今日ノ我國家ノ基礎ヲシテ元スルヤウニ、所謂自治ノ精神ヲ向上シ鞏固ニセムガ爲ニハ、此自治體ニ獨立ノ財源ヲ與ヘテ、自治體ガ自ラ其自治體ヲ發達セシメ、其自治體ノ發達ノ幸福ヲ又自ラニ還スノ如キ稅ヲ地方ニ委譲シマシタナラバ、地價ノ修正トカ、其他徵稅等ガ容易デアリ

マシテ、自治體ノ收入ニ關係アルカラ、自治體自ラガ其氣分ニナシテ行ヒマスカラ、非常ニ是ハ樂デアリマス、併ナガラ之ニ付テハ歴史カラ色モノ關係カラ、地租ヲ地方ニ委譲スルト云フコトニ、國民ノ聲ガ一致シテ居ナイト云フコトモ事實デアル、デ萬一此地租ガ委譲ガ出來ナイトシタナラバ、寧ロ此貨價價格ノ課稅標準モ、理論的ニ申セバ地租稅制シテ一進歩ダト考ヘルコトモ出來ルノデアリマス、併ナガラ今日ノ場合ニ於テ此課稅標準ヲ採ルト云フコトガ、果シテ適切デアルヤ否ヤト云フコトハ、昨日長岡君ハ喋々ト御述ベニナシテ居リマスルカラ、私ハ重複ヲ虞レテ此處ニ述ベマセヌガ、結局政府ハ相當ノ諮詢機關ニ諸ラレテ、十分ニ検討セラレテ居ルカ否ヤト云フコトヲ承テ置キタインデアリマス、次ニ私は第六トシテ減稅種目ノ選擇ハ何ヲ標準トセラレタカ、又其減稅額ノ配當ハ何ヲ根據トナサレタカト云フコトヲ御尋ネシタイ、我我ハ今回ノ減稅案ノ内容ヲ研究シテ見マスルニ、營業收益稅ノ如キハ六年度ノ減收方千二百何十万圓カニナリマス、其減收ガアルニモ拘ラズ、尙ホ四百六十万圓ヲ配當シテアリマス、又地租八千八十一万圓ノ減稅ニ引當テルコトニナシテ居リマス、是ガ相互權衡ヲ得ナイヤウニ考ヘラレルノデアリマス、砂糖消費稅ニ付テ觀察イタシマスルニ、此砂糖一人ノ消費ガ統計ニ依リマスト二十分トナシテ居リマス、之ニ對スル減稅ガ一斤ガ僅カニ、三厘……三厘ニ過ギナインデアル、砂糖ノ消費ガ斯クノ如ク少シト云フコトハ、御承知ノ如ク農村ナドデ砂糖ヲ料理ニ使フナント云フ弊澤ヲシテ居ル所ハ殆ド見ナイノデアル、目下最窮狀ニ陥テ居ル所ノ農村ナドノ減稅ニハシシモナリマセヌ、此消費稅ハ、又織物消費稅ノ如キハ、價格ニ影響スル程ノ減稅ニナシテ居リマセヌ、殆ドモサ言フニ足ラナイノデアリマス、

が出来來ナイ位ナ減稅デアリマス、斯ウ云フ
「デパート」デ決シテ安クナリマセヌ、一體
斯ウ云フ織物ノ如キ、國民ニ其地質其他價
格ノ鑑識ガナイ以上ハ、唯値段ノ高イ物ガ
良イト云フ觀念ニ驅テレマシテ、決シテ、
少シ、五厘ヤ一錢安イカラト云ウテソレヲ
買フト云フノハアリマセヌ、三越ノ「デパー
ト」ナドニ参リマスルト、價格ヲ安ク付ケテ
置イタラ賣レナイ、倍クラキニシタラ賣レ
出シクト云フヤウナ話モ承ツテ居リマスガ、
是ハ値段ガ高イカラ良イ物グト云フ考ヘデ
アリマシテ、品物其物ヲ鑑識スル能力ガ普
通ノ人ニハナカ（ムツカシイ、殊ニ著物
ノ如キハムツカシイ）ノデアリマス、チヨット
シタ色合ニモ、色ノ付ケ方、或ハ模様ノ付
ケ方デ、非常ニ價格ニ相違ガ來マスカラ、
ナカ（此價格ヲ鑑識シテ、適當ナ價格デ
購買スルト云フコトハ、事實行ハレ難イ、
故ニ、織物消費稅ナド、眞ニ此雀ノ涙クラ
キヲ減ジマシタ所デ、決シテ消費者ノ利得
トハナリマセヌト云フコトハ、是ハ何人モ
サウ御考ヘニナルト、私ハ信ズルノデアリ
マス、政府ハ今回ノ減稅ハ、大體ニ於テ地
方收入ヲ増減ナカラシムルヤウニナッテ居
ルト申サレマスルガ、實際ハ地方團體ノ減
收ハ免レヌト思フノデアリマス、第七ニ政
府ハ地方財政ノ困窮ヲ如何ニ觀察セラレテ
居リマスルカト云フコトヲ御尋ネシタイノ
デアル、極ク簡単ナ御尋ネデアリマス、ド
ウモ我ミガ見テ居リマスト、地方財政ニ付
テ政府ノ御心配ガ誠ニ足ラヌヤウナ感じガ
致スノデアリマス、此事實ハ、昨日長岡君
ガ茲ニ喋々御述ベニナシテ、證據ヲ擧ゲテ御
述べニナシテ居リマスカラ、申上ガヌデモ十
分御分リデゴザイマセウガ、唯一時的薈藥
貼ヲナサレ、一時抑ヘルト云フヤウナ風ガ
アルノミデアリマシテ、決シテ此地方財政
ヲドウシテヤラウト言フヤウナ、積極的ノ
御考ヘガナイヤウニ感ズルノデアリマス、

其證據ニハ、現政府ハ小學校ノ國庫負擔ヲ全額負擔ノ主張ヲナサレテ居ル政府デアル、然ルニ昨年ノ臨時議會ニ、誠ニ申譯的ノ僅カニ一千万圓ノ國庫負擔ノ増加ヲシタルデアル、我々ハ地方ヲ廻テ聽イテ見マスルト一千萬圓ノ國庫負擔ノ増加ハ如何ナル影響ヲ與ヘテ居ルカト申シマスト、御承知ノ如ク、貧窮町村ハ既ニ九割五分マデ行テ居リマスカラ、今日、目下非常ニ窮状ニ陥テ居ル所ノ農村ハ僅カニ二分位シカ增加ヲ受ケテ居ナインデアル、誠ニ何厘ト云フ……是モ一ノ所謂減税デアリマスガ……減税ニシカナノテ居ナイ富裕町村ハ一年ニ一錢ヤ二錢ノ減税ヲシテ戴クヨリハ、我々ハ金融ヲ滑ラカニシテ、我々ガ働キ得ルヤウニシテ下サレタナラバ、十錢ヤ二十錢ノ稅ヲ國家ニ拂フコトハ何デモナイ、富裕町村ハサウ考ヘルノハ無理デハナイト思フ、相當ノ仕事ヲシテ居ルノデアル、所ガ、我々ハドウ云フ者ヲ今日救ハナケレバナラスカト云フト、今日食フニ困ル、ドン底ニ陥テ居ル人ヲ救ハナケレバナラスト云フ考ヘラ持テ居ルノデアル、ドウシテモ其方面ニモト著意シテ戴キタイノデアル、救護法ト云ヒ、此國庫負擔金ノ方法ト云ヒ、全額負擔ヲ國庫ガスルト云フ、此政策ヲ御持チニナッタル現政府ガ、何等今年ニ於テ、此國庫負擔金ノ增加ヲ御計畫ニナッテ居ナイ、是ハ今日ノ農村ノ窮状カラ見マシテ、先般來本議場ニ於テ、殆ド此壇上ニ立ツ人ハ之ヲ絶叫シナインガナインデアリマス、實ニ慘憺タル有様デ、小學校ノ先生ニ寄附ヲ要求スル……強要スルトカ、或ハ俸給ノ支拂ヲ六箇月モシナイトカ、是ガ大キナ數ニナシテ、文相モ是等ノ數ヲ調べテ驚イテ居ラレル筈デアリマス、カ、ル状況ニアルニ際シテ、何等ノ手段モ御盡シニナラナイデ、此小學校ノ教育ハ如何ニナサレマスカ、今日就學年齡ニ達シテ居ル所ノ兒童ノ爲ニハ誠ニ不幸ナコトデアリマス、小學校ノ教員ガ俸給ヲ寄附セナイ

ト云フ、子供ヲ登校セシメナイト云フ
ト迄ニ至テ居リマス、斯クノ如キ状況ハ如意下サレムコトヲ私ハ切望スルノデアリマス、第八ト致シマシテ、私ハ此地租法ニアリマス、公供團體公有地ノ多キ土地ニ關シテ、政府ハ如何ナル補償法ヲ御定メニナリマスカト云フコトデアリマス、モウ一度申シマスガ、公共團體公有地ノ多キ土地ニ關シテ、政府ハ如何ナル補償法ヲナサイマスカ、是ハデス、ドウ云フコトカト申スト、此地租法ニ依テ課稅ヲシナイモノハ、公有官有或ハ一部神社、佛閣、斯ウ云フヤウナ土地ニハ課稅ヲシナインデアル、所ガ、政府ノ施設ヲ殆ド其町村ニ蔓ラシテ居ルヤウナ一例ヲ申セバ、海軍工廠ガ蔓テ居所ノ吳ノ如キ、或ハ舞鶴ノ如キ、或ハ陸軍デ申シマシテモ、此近郊ニ兵營其他演習地ノ非常ニ多イ所トカ、斯ウ云フヤウナ所ガ、全國ニシテ其區域ニアル所ノ町村ハ、附加稅ヲ課スルコトモ出來ヌシ、收入ヲ非常ニ減ジテ、其土地ニ對スル諸稅ヲ皆頭割ニ負擔シテ居ルノデアリマス、ドウシテモ斯ウ云フヤウニ偏シテ、國防其他カラ斯ウ云フ設備ヲスル以上ハ、之ニ適當ナル補償ヲスルト云フコトハ、今日ノ時代ニハ最モ必要ト私ハ感ズルノデアリマス、昔ノヤウニドノ人ノ權利モ何モ蹂躪シテ、サウシテ空イ方居ル所ハ僕タト云フヤウナ時代トハ、今日ハ達セマス、ドウシテモ是等ニ付テハ相當ノ考慮ヲ拂テヤラナケレバナラズト思フノデアリマスガ、政府ハ是ニ付テ如何ナル方法ヲ御執リニナラムトスルカ、私ガ承ル所ニ依ルト、從來各省ハ……各省ト云フテモ陸軍ノ方デハヤシテ居リマセウガ、海軍ノ方デアリマセウガ、若干ノ豫算ヲ運用シテ其補償ニ當テラレテ居ルヤウナコトモ聞イテ居リマスガ、ソレガ果シテ事實デアリマスカ、是ガ果シテ事實トシタナラバ如何ナル法律、如何ナル手續デ、ソレヲ補償

アリマス、鬼ニ角此減税ヲナサレテ、國民負擔ヲ輕減スルト云フコトハ、我々ハ少シモ反對スルモノデヤアリマセヌ、寧ロ大々的ニナサレムコトヲ希望スルモノデアリマス、併ナガラ姑息的ニ今日ノヤウナ倫敦條約ト釘付ケニシタ所ノ僅カノ金ヲ六年間ニ振撤イテ、此減税計畫ヲナサレタ云フコトニ付テハ、決シテ我々ハ同意が出來ナインゾアリマス、今日ノ如キ不景氣ニ於キマシテハ益々稅收入ヲ減ジテ、國家財政ヲ窮乏ニ導イテ居リマス、遂ニハ又増稅ノ已ムナキニ至ラテ來ヤセヌカ、之ヲ私等ハ心配スルノデアリマス、況シテ先刻來述ベマシタ如ク、將來尙ホ軍艦等其他ノ經費ガ非常ニ增加スルト云フコトガ眼ノ先ニプラ下ッテ居リマスト同時ニ、現下ニ於ケル國際政局ハ、決シテ安心ガ出來ナイト云フコトハ、政府諸公ノ御承知ノ通リデアリマス、我々ハ現在ノ我國防力ガ是レ以上ニ減縮スルト云フコトガ出來ナイ状況ニアルト云フコトヲ確信シテ居リマス、サウ云フ心配ヲ我々ハ持テ居ルノデアリマス、故ニ將來減稅ノ財源ヲ國防力カラ出シテ行クト云フコトハ、ナカニ_ノ困難デアルト信ジテ居ル一人デアリマス、結局私ハ只今舉ダマシタ所ノ八項ニ係ル質疑ヲナシマシタノハ、此法案其モノノ重大性ニ鑑ミマシテ、誠ニ僭越デアリマスルガ、此壇ニ登ッテ御尋ネスル次第デアリマス、ドウゾ政府ニ於カレマシテハ深切ニ明快ニ御答辯アラムコトヲ切ニ御願ヒ致シマス

ノ爲ニ、留保シテアル財源カラ無理ニ剩餘金ヲ出シテ、ソレヲ減税ニ當缺メタカラシテ、海軍ノ整備計畫モ不完全デアルシ、減税モ頗ル少額デアル、兩者相立タナイヤウナ關係ニナツテ居ルヂヤナイカ、ソレデアルドウカ、斯様ナ小額ノ減税ヲチビヽヤルコトハ效果ガナクシテ、寧ロ行政ノ整理ヲヤツテ減税額ヲ殖ヤシテ實行シタ方ガ非常留保シテ置イテ、サウンテ減税ヲ止メタラアリマスガ、我ミハ斯ウ考ヘテ居リマシタノデアリマス、留保財源ガ餘リ巨額デナカッタ、十分デハナインデアル、併ナガラ第一回ハ昭和六年カラ主力艦ノ代換建造ト云フコトヲ止メルコトガ出來ル、中止スルコトガ出来ル、其爲ニ相當ナ財源ノ餘剩ガ出テ來タ、斯ウ云フコトハ即チ倫敦軍縮會議ノ結果生ジタ事情デアリマス、ソレデアリマスカラ、其留保シテアル財源ヲ軍縮會議ノ目的デアル國民負擔ノ輕減ト云フコトハ是非トモ實行シタイ、又一方カラ考ヘマスト、如何ニ少額デアツテモ、今日ノ如キ經濟界ノ急激ナ變動ノアル時ニ對シテハ、政府ノ處置トシテハ、私ハ其額ノ少イコトハ如何ニモ遺憾デアリマスケレドモ、其事柄ハ今日ノノアル所、考ヘノアル所ヲ國民ニ示スト云フコトハ、私ハ其額ノ少イコトハ如何ニモ遺憾デアリマスケレドモ、其爲ニハ適當ナ財源ヲ分配シテ、餘剩金が出來マシタナラバ減税ヲスルト云フコトハ、之ヲ切離シテモ、如何ニ、ドウシテモ、私ハ適當ナ處置デアル、

又荀モ倫敦軍縮會議ニ臨ンダ以上ハ、又留保財源カラ餘剩金方出シ得ルナラバ、私ハ國民ハ左様ニ期待スベキ性質ノモノト考ヘルノデアリマス、私ハ三井君ノ御問デモナルカツタノデアリマスガ、五億八百万圓ノ留保財源ノ性質ヲ極ク簡單ニ説明イタシテ置キタイノデアリマス、三井氏ノ言ハレルヤウニ五億八百万圓ノ留保財源ヲ財政計畫ノ中ニ入レマシタノハ、昭和五年ノ財政計畫ノ時ニ入レマシタノデアリマス、從テ三井氏ノ指摘サレル如ク十五億以上ノ歳入ノアッタ時代ニ入レタノデアリマス、ソレガ昭和五年度ノ實行スル場合ニナリマシテハ、一億二千万圓ト云フ税ト官業ノ收入ハ減、タノデアリマス、減リマシタカラ其處ニ非常ナ財政上ノ狀態ノ變化ヲ來シテ居リマス、三井氏ノ言ハレルヤウニ、五億八百万圓ト云フノハ現金ガ積ンデアル譯デハナイ、稅ガ減レバソレダケ減ル譯デアリマス、然ルニ只今申上ゲル如ク國防ノ爲ニハ適當ナ金ヲ使ハナケレバナラヌシ、今日ノ經濟界ノ爲ニハ少クトモ減稅ヲスペキモノト考ヘタ結果ガ、五億八百万圓ト云フモノガ今後一切、稅ガ減ルケレドモ、此モノニハ減サズニ、他ノ各省ノ經費デ減シタノデアリマス、然ルニ五億八百万圓ト云フモノガ第二ノ御間ハ存在シテ居ル譯デアリマシテ、即チ昭和六年度ニ於テ各省ノ歲出ニ巨額ナ減額ヲ見タ譯ハ、ソコニアリマス、併ナガラソレハ一方カラ言ヘバ、國防ノ爲、又減稅ノ爲ニ已ムヲ得ヌ處置、即チソレガ今日ノ時局ニ對スル適當ナ處置ト考ヘテ、其事ヲ決行シタ所以デアリマス、ソレカラ第二ノ御間ハ大體ノ財政計畫ノ御話デアリマシテ、御間ノ趣意ハ今日減稅ヲ致シテモ將來ニ於テ差支ナイカ、斯ウガ御間ニナルノデアリマス、私ハ只今申上ゲルヤウニ、留保財源ガアツテ、ソレデ海軍ノ計畫ヲ立テテ、サウシテ餘財源ヲ減稅ニ持テ行フテ、御覽フ如ク財政計畫ハ出來テ居ルノデアリマス、世

ノ中ノ事ハ今日アテ明日如何ナルコトガ
出来ルカソレハ分リマセヌ、何人ト雖モ分
ラヌノデアリマシテ、今日假ニ斯ウ云財政
計畫ガ立ツテ居リマシテモ、過去ノ經驗カ
ラ申シマシテモ、何時デモ稅ハ殖エルコト
モアレバ、減ルコトモアリマス、過去二十
年間ノ歴史ヲ考ヘテ見マスト、何時デモ五
六年先ノコトヲ豫想シタコトハ變テ居
ルコトモアリマス、減ルコトモアレバ殖エ
ルコトモアリマス、昭和五年ニ考ヘタ稅ガ
昭和六年度ニ至ツテ一億二千万減ルコトモ
アリマス、併ナガフ十五億モアル此財政計
畫ノ中デ一億二千万圓ト云フモノノ伸縮ノ
出來マスルト云フコトハ、日本ノ此財政計
畫ノ狀態デアリマス、非常ナ……一割近イ
歲出ヲ減シマスルコトハ非常ナ無理ガ行キ
マス、無理ガ行キマスカラ色ニ度ニ申上ゲマスル如
ルヤウナ無理ガ行ツテ居リマスケレドモ、ソ
レダケフ減ジテ行政ガ運用ガ出來ルト云フ
ヤウナ計畫ニナツテ居リマスコトハ、私ハ過
去ノ財政當局者ニ非常ナ感謝スペキコトト
思フノデアリマス、ソレナラバ左様ニ減ジ
タ後ノ狀態ヲ見ルト、度ニ申上ゲマスル如
ク、財政ノ計畫ニ於テ過去ト比較シテ決シ
テ安固ト言ヘヌカラ、財政ノ或ハ行政ノ整
理ヲシテ、サウシテ此計畫ヲ安固ニ立テテ
行カウ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、
此中デ私ハ三井氏ノ御言葉ガ惡カタカ、私
ガ聽キ方ガ惡カタカ、チヨット誤解ノヤウ
ナ點ヲ見付ケ出シマシタカラ、是ハ辯明解
釋イタシテ置キマスガ、留保財源ト財政計
畫トノ關係ヲ申シテ置キマスト、留保財源
ハ昭和六年度ガ大數デ申シマスト、財政計
畫ノ中ニハ千八百万圓、ソレカラ昭和十一
年ニハ一億千何百万圓、一億二千万圓近イ
ノガ這入ツテ居ルノデアリマス、即チソレガ
昭和十二年度ノ數字ニナルノデアリマス
ガ、其中カラ航空隊ノ維持費ノ二千五百万
圓モ取リマス、ソレカラ減稅ノ二千五百万
圓モ差引キマシテ、残リガ六千万圓アルノ

申レマス、從ヒマシテ財政計畫ノ上カラ
一時的ノモノデナシニ、所謂永久財源トシ
テ續クモノデアリマス、誤解モアリマセヌ
デシタラウガ、御言葉ノ中ニ十二年度以降
ハ外ニ恒久的ノ財源ヲ求メナクチヤナラヌ
デヤナイカ、留保財源ハ一時的ノモノデヤ
ナイカ、斯ウ仰シヤラレマシタガ、今ノ私
ガ申シマス一億二千万圓近イ金ハズト這
入テ居リマシテ、其申カラ五千万圓近イ維
持費ト減税ヲ引クト云フコトノ理窟ニナリ
マス、コチカラ歳入ノ方カラ減税ハ引キマ
スカラ、専門的ニ云ヘバ違ヒマスケレドモ、
説明イタシマスレバサウナリマス、ソレカ
ラ海軍ノ維持費ガ足リナイ、得テ居ル権利
ノ全部ヲ行使スレバ金ガ幾ラ要ル、工業能
力維持ノ爲ニ金ガ幾ラ要ル、ソレカラ昭和
十二年度以降ノ頭ヲ多少出ス爲ニ金ガ幾ラ
要ル、合計シテ三億モ要スル、斯ウ云フ御
話デアリマシテ、ソレヲ概計表ノ上ニ照シ
テ見ルト、頗る概計表ハソレトハ非常ナ不
適當ナ状態ニナツテ居ルガ、財政計畫ノ非常
ニ薄弱ナモノデヤナイカ、斯ウ云フ御言葉
デアリマスガ、維持費ハ昭和十一年以前ニ
幾ラノ金ガ要ルカ、斯ウ云フヤウナコトニ
付テハ、海軍大臣ヨリ度々御説明モアリマ
シタガ、私ハ大體財政計畫ノコトヲ御話申
上ゲテ見テ置キタイト思ヒマス、成程軍艦
ノ新シク出來マス頗數ガ殖エマス、スレバ
維持費ガ要リマス、併ナガラ昭和五年度以
前ノ維持費ハ鬼ニ角分配サレテ全部艦ハ動
イテ居ル、今後殖エルモノハ左程ニ多クノ
頗數デハナイ、私ガ一つ是マデノ海軍ト大
算盤ヲ採レバ是ダケノ維持費ガ要ルト云フ
藏省トノ間ノ状態ヲ御話申上ゲテ、此三
井氏ノ御問ヒニ對スル御答ニシテ置キタイト
ノデアリマスガ、海軍ノ艦ガ何頃出來ル、
デノ日本ノ財政ノ上カラ左様ナユトリガナ
イ、又剩餘金ノアリマシタ時ニ於キマシテ、

海軍自らか自分ノ多クノ財源、多クノ廣維持費ノ如キハ大部分海軍デヤリマシタ、サウシテ財政ニ餘裕ガアツタ時ニハ何時デモ大藏省モ喜ンデ海軍ニ此維持費ヲ提供シテ居ルノデアリマス、サウデアリマスカラ數字、理想的ニ割出サレタ維持費ガ、何時デモ海軍ガ大藏當局者カラ取テ居ルト云フ次第デハアリマセヌ、ソレハモウ何レノ國ノ財政デモ私ハ左様ニ考ヘマスガ、サウ云フコトデ兩者ノ間ニ協定ガ出来テ左程ナ困難モシテ居リマセヌ、ソレカラ昭和十一年以前ニ權利ノ行使ニ付テハ希望モアリ必要モ認メル、斯ウ云フコトデアルガ、ソレニ對シテ何等財源ガ用意ガシテナイ、成程三井氏ノ言ハレル、私ハ、數字ヲ、只今ハキリ頭ニ入レテ居リマセヌガ、權利ノ全部ヲ行使イタシマシタラ左様ナ數字モ出テ参リマセウ、併ナガラ度ニ海軍大臣カラ申上ゲル如ク、成程希望モアレバ必要モ認メテ居ルガ、是ハ相對的ノコトデアリマスカラ、外國ノ狀態如何ニ依リ、程度モ極マレバ年限モ極マル、斯ウ云コトデアリマシテ、斯様ナ事態ニ應ジマシテ是マデハ財源ニ餘裕ガアレバ何時デモ仕舞テ置キマス、今カラ申シマシテ五年ノ中、即チ昭和十一年マデノ間ニ之ヲ實行スル、マダ程度モハッキリシテ居ナイ、ト云フヤウナ事態ニ應ジマシテ、是マデノ日本ノ財政デ的確ニ凡ソノ計畫ヲ立テテ、何億トカ何千万圓ト云フ數字ヲ留保シテ居タヤウナコトハ、殆ドナイノデアリマス、先刻池田男爵ガ繰返サレマシタ時、即チアノ時ヲ考ヘテ見マスト、昭和六年ハ華盛頓條約ニ依ル主力艦ノ代換建造ガ始マル年デアル、殆ド的確ニ何順ノ主力艦ヲ捨ヘナケレバナラヌ、金ハ幾ラト云フコトガハキリシテ居リマスガ、左様ナ場合デサヘモ潤澤ナ金ハナカナカ用意ノ出來兼ネル次第アリマス、サウ云フコトデ、今日迄

財政ハヤリ來テ居テ、サウシテ一方ニハ先刻池田男爵ノ御間ヒノ如ク、實際ニ於テ國防缺陷ガアル場合ハドウスルカ、増稅ヲスルカ公債ヲヤルカ、如何ナル方法デ之ヲ實行シテ行クカト云フヤウナ御間ヒニ對シテハ、是ハ國ノ國防ノ缺陷ガアルト云フコトガハキリ致シマシタナラバ、私ハ如何ナル方法ヲ採リマシテモ其時ニ出來ルダケノ方法ヲ講ジテ財源ヲ捻出スルト云フコトハ、國ノ財政ノ上カラ云々タラ當然ノ儀ト考ヘテ居ル次第アリマス、第三ノ御問ヒハ一方ニハ減稅ヲシテ一方ニハ失業公債ヲ募集スル、非常ナ矛盾テハナイカ、左様ナ金ヲ集メタナラバ非常ニ大キナ借金ヲヨコニ殖ヤノ如キハ決シテ一時のデハナカラウ、ソレガ五年モ續ケバ一億圓ノ金トナル、賠償金モ一時中止シタデハナイカ、左様ナ金ヲ集メタナラバ非常ニ大キナ借金ヲヨコニ殖ヤスコトニナル、私ハ昨日長岡君ノ質問ニ對シテ大要御答へ致シタノデアリマスガ、成程若シ假リニ一方ニ減稅ヲ致シマス、サウシテ永ラクニ瓦ル公債財源ヲ以テスル事業ヲ計畫イタシマシタラバ、ソレハ御說ノ如ク一方ニハ借金ヲ殖ヤシ、一方ニハ減稅ヲスルト云フ矛盾ニナリマス、ハキリサウナルノデアリマスガ、併ナガラ今日ノ狀態ハ、經濟界ニ對スル處置トシテハ、政府ノヤルコトトシテハ、色々ナ御說モ伺ヒマス、國民ノ所得ヲ殖ヤシテヤレ、或ハ國民ノ窮民ノ救濟ヲシテヤレト云フヤウナ御說モアリマスガ、國ノ處置ト致シマシテハ、斯様ナ場合ニ減稅ヲヤルト云フコトガ、私共ハ最モ適當ナル處置ト考ヘルノデアリマス、デアリマスカラ減稅ハ致シマスガ、併ナガラス如ク一年二年デ切レルカ、ソコノ所ハ何人モハキリ致シマセヌガ、日本ニ三十万以上ノ失業者ガ若シ今後五年、七年或ハ十年續キマスカラバ、ソレハ日本トシテハ失業救

共ハアルト思^テ居リマス、理窟^ハ當ラヌカモ知レマセヌガ、或ハ舊イノカモ知レマセヌガ、世ノ中ノ景氣不景氣ハ相當ノ年限ニ於キマシテハ何時モ轉換シテ居ル、三井氏ノ言ハレルヤウニ、此今ノ世界ノ經濟界ハ容易ニ直ラヌト言ハレルノモ一案カモ知レマセヌ、併シ何人トシテモ左様ナハッキリスル譯デハナイノアリマス、是迄ノ過去ノ經歴ヲ以テ我ミノ知識ノ根本ト致シマスナラバ、永久ニ此状態が變化シナイト、斯ウ云フコトモ、決シテ私ハ、確カナ事實デハナイノデヤナイカ、斯ウ考ヘマス次第デアリマス、又一方カラ言ヒマスレバ、過去ノ經驗カラ言ヒマスト、國家ハ生物デアリマシテ、昭和六年ニ考ヘマシタ此國家財政状態ガ永久ニ續ク、十年續ク二十年續クト云フヤウナコトヲ、此處ニ考ヘマシタラバドウナルカ、斯ウ云ヘバ今日ノ物價ガ是ヨリ下ラズニ今日ノ歲入ガ減タナラバ、我が考ヘテ居リマス如ク、増稅ヤ財政ノ整理ヲシテ、之ニ當嵌メテ行クヨリ外ナイ、若シ茲ニ之ニ應ジテ物價ガ減タナラバ、ソレモ當然ノ結果トシテ出テ參リマス、サウ云フコトヲ考ヘマスト、今日ノ急激ニ稅ガ減ツタコトヲ以テ直ニ百年ノ計ヲ茲ニ考ヘテ行キマスコトモ、可ナリ無理ガ出來ル次第デアリマシテ、議論ニ瓦リマスヤウデアリマスケレドモ、サウ考ヘテ見マスト、私ハ今日減稅イタシマスコトガ直ニ將來ニ是ガ增稅ニ變化スルト云フヤウナコトハ、財政當局者ノ努力ニ依テ是ハヤメルコトモ出來ル、即チサウ云フコトノ無力ナラシムルヤウニ努力イタシマシタラ、其效果ハ舉ガルトモ考ヘテ居ル次第デアリマス、減稅ノ内容ニ瓦ラレテ、減稅ハ直接稅ト間接稅トノ權衡ヲ頗ル宜シキヲ得ナイカラ、之ヲ當分ヤメタラドウカ、斯ウ云フヤウナ御話デアリマシタノデアリマスガ、昨日モ長岡デノ問ニ對シテ私ハ答ヘマシタヤウニ、今

マズルト、地租法ノ改正ニ依リマシテ成程六百万圓田畠ニ於て減税ニナリマス、宅地ニ於キマシテ五百万圓ホド増税ニナルノデアリマス、併ナガラ減税ヲ致シマス場合ニ目前ノ經濟狀態バカリニ因ハレルコトノ不可ナルコトハ當然ノコトデアリマスガ、今日ノ場合ニ於テ地租法ヲ茲ニ改正シテ見ヤウ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ見マスト、農村ノ狀態ニ對シテ地租ニ對シ相當ノ減税ヲシタイ、斯ウ云フコトハ實際ノ當局者カラ申シマスト、サウ云フ感ジガ起シテ參リマス、農村ノ減税ヲシテ見マスト、ソレト對立シテ居リマス營業収益税、即チ市街地ニ於ケル商工業者ノ小サイモノ、ソレニ對シテ稅ヲ減ジテヤリタイ、斯ウ云フヤウナ感ジハ起ルノデアリマシテ、若シソレニ對シテ御非難ガアリマシカラ、金額モ一定シテ居ル、減税ヲヤラウ、稅制ノ根本ニ瓦ツテ金額ヲ嫌ハズニ稅制ノ公正ヲ期スル爲ニヤタ整理案デナイノデアリマスカラ、私、自分が申シマスヤウナ、サウ云フ感ジガアツテ實行シタノデアリマス、數字上ノ根據ヲ……此稅此稅ト絕對的ニ調查ヲシテ、數字上ノ根據ヲ示セト仰シヤルナラバ、ソレハアリマセヌ、只今申シマスヤウナ事態デアルノデアリマス、ソレカラ宅地租ハ市街地デナシニ農村ニ於テモ宅地ホカ持タズニ、他ノ田畠ヲ持タナイ者ガ多カラウ、斯ウ云フ御話デゴザイスカラ、其點ハ私訂正申上ゲマシタ如ク、宅地ダケデ申シマスト、郡部デハ五十五万八千圓程地租ガ減租ニナフテ居リマス、決シテ其郡部ノ宅地租ハ上ガッテ居リマセヌ、デアリマスカラ、思ヒマス、煙草ノ値下グヘドウカ、煙草ノ値下グヘ間接稅ノ最モ重要ナモノデアリナガラ、政府自體ノ煙草ノ値下グヲゼズニ置イテ、他ノ四種ヲ取テサウシテ稅ヲ下ゲ

タ、誠ニ御尤モナ話デ、我ニモ今日ノ煙草
需要者ガ決シテ全然贅澤ナモノ、斯ウハ者
ヘマセヌ、併ナガラ煙草ノ値下ダ致シマ
スノニハ非常ニ巨額ナ財源ヲ要シマス、一
種ノ煙草ニ對シテ何錢カ下ダマシテモ、中
巨額ナ財源ヲ要シマスノデ、私左様ナ勘定
定ヲシタコトモアリマセヌガ、サウ云フニ
五千五百万圓ノ減税ヲ全部煙草ニ持テ行ク
コトガ出來マスナラバ、ソレハ相當ニ有效
トモ考ヘマスガ、煙草ノ値下ダハ相當ナ財
源ヲ要シマスノデ、實ハ今日ノ財政状態デ
ハ容易ニ手ノ著ケラレナイヤウナ事態デゴ
ザイマス、減税ヲシナガラ救護法ヲ出サナ
イ、窮民ノ救濟ニ努メタ方ガ減税カラ見
タラ宜カラウ、斯ウ云フ御話デアリマ
シタガ、誠ニ御尤モニ考ヘマス、救護
法ノ財源ニ付キマシテハ、大體ノ見込
ガ付キマシタノデ、是非共今年度カラ
所謂昭和六年度ノ或時期カラ實行期ヲ決メ
テ、サウシテ實行シタイト考ヘテ居リマシ
テ、遠カラズ御協賛ヲ仰グコトニナルト
考ヘテ居リマス、併ナガラ過日湯地君ノ御
問ニ答ヘマシタヤウニ、此倫敦ノ軍縮ノ餘
剩金ヲ以テ斯様ナ救護法ニ充テタ方ガ宜ク
ハナイカ、何故之ニ充テナイカト云フ御説
デアリマスナラバ、我ニハ當初カラノノ留
保財源カラ得ラレル金ハ是非租税ヲ減ジヤ
ウ、或ハ間接税ヲ減ジヤウト云フコトヲ最
初カラ考ヘテ、其道ニズト進ンデ參リマシ
タ、又ソレガ我ニハ適當ナコトト考ヘマシ
タ次第アリマスカラバ、サウ云フ
御問デゴザイルマスナラバ、ノ考ト達ニ
リマシタノデ、ソレカラ貨貸價格ヲ
標準ニテ地租ヲ變更スルニ付テ慎重ニ考
慮ヲ拂ッタカ誠ニ御尤モデアリマス、今日
ノヤウナ經濟界ノ變動シタ場合ニ、貨貸價
格ニ依テ地租法ヲ改正スルノハドウカ、又
モ市街地ニ増税ニナルヤウナモノハ今日止
メタ方ガ宜イデヤナイカト云フヤウナ御説
モアルヤウナ次第アリマスガ、併ナガラ
賃貸價格ノ調査ハ大正十四年カラ大凡準備
ヲ致シマシテ、十五年ノ四月一日ノ現在ノ
地租ヲ負擔シテ居る全部ノ土地ヲ調査イタ
シマシテ、サウシテ二箇年間カカリマシ
テ、非常ニ努力ニ依リマシテ一箇年……

丸二箇年カカリマシテ、日本全國ノ土地ヲ
調査イタシマシタノデアリマス、サウ致シ
マシテ土地賃貸價格調査法及ビ土地賃貸價
格調査委員ノ制度ヲ日本全國ニ設ケマシ
テ、丁度之ニ使ヒマシタ金ハ、千万圓程之
ニ金ヲ掛けマシテ、サウシテ調査シタ次第
デアリマス、ソレデアリマスカラ、考ヘマ
スト……其時ニ可ナリ深ク考ヘテ居リマシ
タノデ、土地ノ收益ヲ本ニシテ法定地價ヲ
變ヘルノモ一案ダ、ソレカラ土地ノ地價ヲ
標準トシテ之ヲ計算スルノモ一案ダ、ソレ
カラ賃貸價格、此三ツニ付テ可ナリ研究モ
シ議論モシタ結果ガ、ヤバリ適當ナルモノ
ハ賃貸價格アル、斯ウ決メマシタノデア
リマシテ、左様ニ可ナリ年月モ要シ、金モ
掛け、深ク研究シテ居リマス、唯、只今ノ
ヤウニ一方ニ市街地ノ増税ニナルト云フノ
ハドウカト云フ御考モアリマスガ、是ハ昨
日御答ヘ申ス如ク、負擔ノ公正ト云フコト
ヲ圖ル爲ニ出テ來マシタ地租法ノ改正ノ餘
儀ナイ次第アリマシテ、ソレデモ減税ヲ
此處ニ持シテ來ルコトガ出來マシタ爲ニ、市
街地ニ於キマシテモ約、殆ンド五百万圓程
ノ負擔ハ矢張リソレデ輕クナ、テ居リマス、
サウ云フ次第アリマスカラ、ソレヲ兩者
加味シテ御考ヘ下サルト、適當アラウト
考ヘテ居リマス、ソレカラ非常ナ經濟界ノ
變動ノア、時ダカラ賃貸價格調査ノ基礎
ガ違ニテ居ハセヌカト云フヤウナ御説モア
リマセウガ、成程ノ田畠宅地ヲ取
リマシテ見マシタナラサウ云フコトモアリ
マセウ、併ナガラ全體ノ日本ノ經濟界カラ
申シマシタナラバ、今日ノ狀態ニ論及サレテ
ト、皆大體經濟界ノ調子ガ下ッテ居リマス
カラ、左程不釣合ハナイモノト私へ確信シ
テ居リマス、ソレカラ地方財政ノ疲弊困憊
ヲ如何ニスルカト云フコトニ論及サレテ義
務教育費問題ガアリマシタガ、義務教育費ノ
モハキリ政府ノ考ヲ申シテ置キマシタ時ニ
デアリマシテ、全額負擔トカ色ニナ過去ニ
於テ議論モアリマシタケレドモ、先づ特別
議會デ千万圓特別議會デ增加ヲ致シマシタ時ニ
モハキリ政府ノ考ヲ申シテ置キマシタノハ
ゴザイマスト云フコトヲ申シテ置イタノハ
今日モサウ考ヘテ居リマス、義務教育費ノ

○議長(公爵徳川家達君) 午後四時ヲ過ギ
マンタカラ是ニ議事ヲ延會イタシマス、明
日ノ議事日程ハ本院憲報ヲ以テ御通知ニ及
ビマス、本日ハ是ニテ散會イタシマス
居ル次第アリマス

○議長(公爵徳川家達君) 午後四時ヲ過ギ
左様申上ガタヤウニ其方針デズト進ミ來
テ居リマス、ソレカラ只今公有或ハ官有、
神社佛閣ノ非常ナ廣大ナ土地ガアツテ、其地
ノ金額ニ充當スルト云フ考デ、又議會ニモ
減稅ニ使用シテ居リマスガ、實際ノ問題デ
申シマスト、東京市其外數多ノ場所デマダ
減稅ニ振向ケテ居ナイ整理中ノモノモアリ
マスガ、是ハ千万圓ハ千万圓地方稅ノ減稅
方民ガ之ニ附加稅モ課スルコトハ出來ズニ
非常ニ因ツテ居ルガドウシテ居ルカト、斯ウ
云フ御話デアリマスガ……御間ヒデゴザイ
マシタカラ申上ゲマスガ、一般會計ニ於キ
マシテ市町村ノ助成金ト稱シマシテ八十二
万九千八百五十四圓、是ハ内務省所管ニ北
海道ノ國有林野所在地ノ市町村ニ對シテ、
其官有林ヤ國有林ガアリマスト、其附近ノ
市町村ガ困リマスカラ、ソレニヤッテ居ルノ
デアリマス、又海軍省ノ所管ニ於キマシテ
ハ海軍工廠ノ所在ノ市町村ニ對シテ交付シ
テ居ル高ガ三十一万二千二百圓、ソレカラ
農林省ニ於キマシテハ、是ハ國有林野所在
地ノ市町村ニ交付シテ居リマス、特別會計
ノ方デハ海軍ノ火薬廠、ソレカラ海軍ノ燃
料廠、ソレカラ製鐵所ガ一番大キナ金高デ
アリマシテ五十九万三千三百圓ホドアノ土
地ノ市町村ニ交付シテ居ルノデアリマス、
是ハ三井氏ノ言ハレル如ク、稅ガ取レヌノ
デ、勞働者ガ澤山寄^サテ來ル、勞働者即チ
擔稅力ノ少イモノバカリガ寄^サテ市町村ヲ
成シテ、サウンシテ教育等ニハ非常ナ金ヲ要
スルノニ、其支出ノ途ガナイカラト云フコト
デ、斯様ニ支出シテ居リマス、合計イタシ
マシテ百四十四万八千圓程一般會計、特別
會計デ渡シテ居リマス、常ニ是ノ不足ヲ訴
ヘラレ、又新シク請求シテ來ル所モ澤山ア
リマスガ、中ニ要求通リニハ參^サテ居リマセ
スケレドモ、斯様ナコトヲシテ救濟ハシテ
居ル次第アリマス